

新任幹部職員紹介
(環境部関係)

〇〇〇新任幹部職員

〇環境部長	すが 菅	のりあき 範 昭
〇次長	ふくやま 福 山	まさあき 雅 章
〇次長	うえにし 上 西	ことこ 琴 子
〇総務課長	たにぐち 谷 口	あきら 明
〇環境政策課長	よしおか 吉 岡	あきてる 章 晃
〇温暖化対策官	はまだ 濱 田	みか 美 香
〇自然・鳥獣共生課長	もりた 森 田	なおこ 直 子
〇鳥獣対策官	かわた 河 田	ただのり 忠 紀
水大気課長	やまもと 山 本	りゅういち 竜 一
〇環境影響評価官	なかむら 中 村	ひろあき 浩 明
環境整備課長	たかはら 高 原	しんじ 伸 兒

(農政環境常任委員会資料)

作成年月日	令和4年4月18日
作成課	環境部総務課

環境部関係の組織改正について

主な内容

1 部の体制の見直し

政策課題への的確な対応、所掌範囲及び責任の所在の明確化、施策の効率的・効果的な執行を図ることができる体制の構築に向け、特定分野を担当する部長の職を廃止し、部制条例で規定する部として12部体制へと移行した。

農政環境部は、「農林水産部」と「環境部」に再編した。

また、部長を中心とする責任体制を構築するため、「部一課」制を基本としつつ、部長のマネジメント強化策として、部長を補佐する職として次長を新設した。

2 部の政策立案・企画調整機能の向上

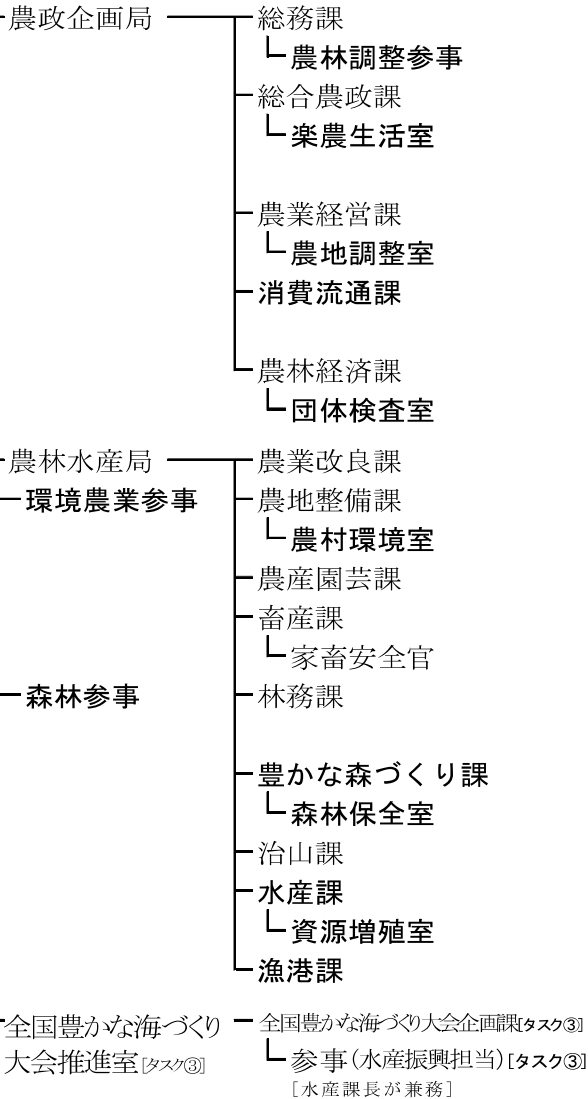
ボトムアップ型県政に必要な政策立案・調整機能の向上に向け、環境部に総務課を設置し官房機能を強化した。

3 課室体制の見直し

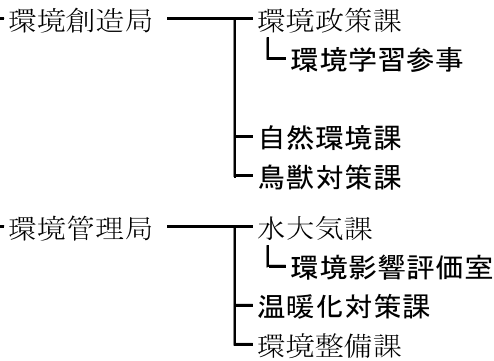
多様化・複雑化する行政課題に的確かつ迅速に対応するとともに、総務事務等を集中的に処理できる効率的な規模となるよう、課室の大括り化を実施した。

農政環境部

農政環境部長



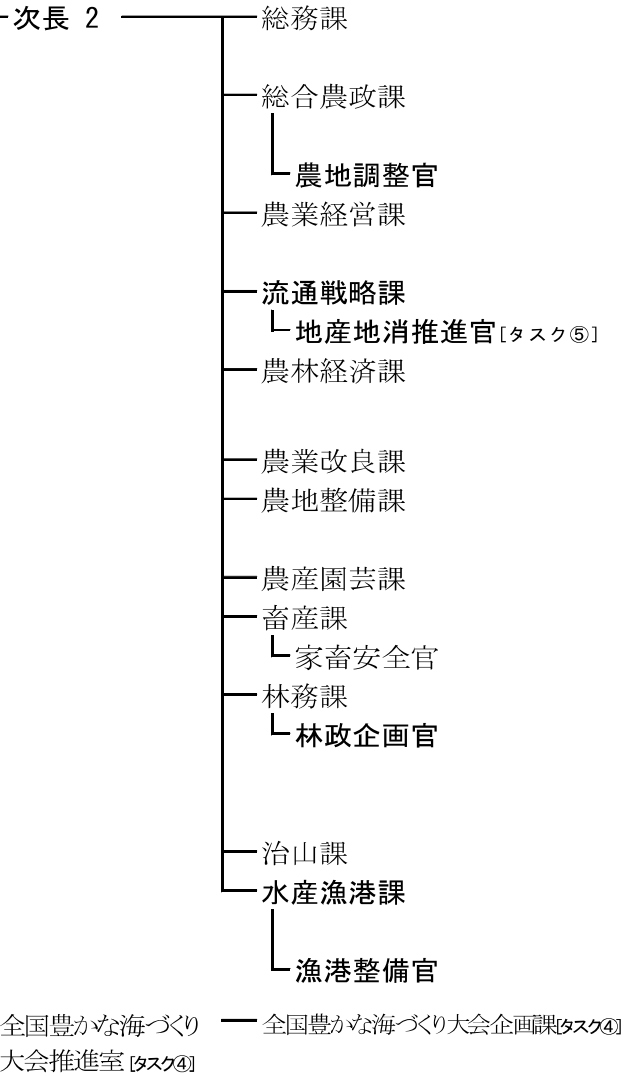
環境部長



- …県立農林水産技術総合センター
- …家畜保健衛生所(姫路 朝来 淡路)
- …県立森林大学校
- …森林動物研究センター

農林水産部

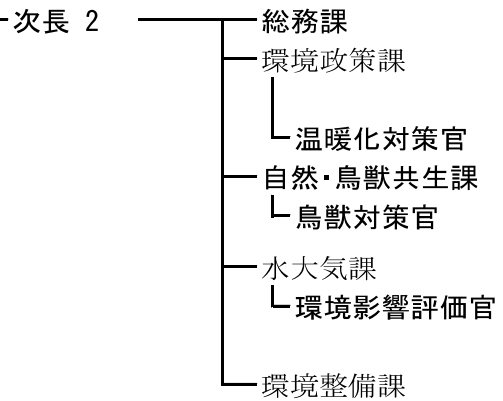
農林水産部長



- …県立農林水産技術総合センター
- …家畜保健衛生所(姫路 朝来 淡路)
- …県立森林大学校

環境部

環境部長



- …森林動物研究センター

新任幹部職員紹介
(農林水産部関係)

〇・・・新任幹部職員

〇農林水産部長	萬谷 (まんだに)	信弘 (のぶひろ)
〇次長	岡 (おか)	明彦 (あきひこ)
〇次長	守本 (もりもと)	真一 (しんいち)
全国豊かな海づくり大会推進室長	長島 (ながしま)	浩 (ひろし)
総務課長	柳田 (やなぎだ)	順一 (じゆんいち)
総合農政課長	宮島 (みやじま)	康彦 (やすひこ)
〇農地調整官	梅田 (うめだ)	裕嗣 (ゆうじ)
農業経営課長	稲葉 (いなば)	久美子 (ひさみこ)
〇流通戦略課長	杉本 (すぎもと)	英久 (ひでひさ)
〇地産地消推進官	澤田 (さわだ)	和也 (かずや)
〇農林経済課長	高崎 (たかさき)	和則 (かずのり)
〇農業改良課長	戸田 (とだ)	和一 (かずかず)
〇農地整備課長	三輪 (みづり)	顕 (あきら)
農産園芸課長	藤本 (ふじもと)	喜龍 (よしたつ)
畜産課長	中家 (なかや)	一郎 (いちろう)
〇家畜安全官	本田 (ほんだ)	義貴 (よしかた)
〇林務課長	峯 (みね)	陽治郎 (ようじろう)
〇林政企画官	岸本 (きしもと)	健吾 (けんご)
〇治山課長	前嶋 (まえじま)	昭 (あきら)
〇水産漁港課長	中岸 (なかがし)	明彦 (あきひこ)
〇漁港整備官	藤原 (ふじはら)	信一 (しんいち)
全国豊かな海づくり大会企画課長	由良 (ゆら)	一成 (いちなり)

(農政環境常任委員会資料)

作成年月日	令和4年4月18日
作成課	農林水産部総務課

農林水産部関係の組織改正について

主な内容

1 部の体制の見直し

政策課題への的確な対応、所掌範囲及び責任の所在の明確化、施策の効率的・効果的な執行が図ることができる体制の構築に向け、特定分野を担当する部長の職を廃止し、部制条例で規定する部として12部体制へと移行する。

農政環境部は、「農林水産部」と「環境部」に再編する。

また、部長を中心とする責任体制を構築するため、「部一課」制を基本としつつ、部長のマネジメント強化策として、部長を補佐する職として次長を新設する。

2 課室体制の見直し

多様化・複雑化する行政課題に的確かつ迅速に対応するとともに、総務事務等を集中的に処理できる効率的な規模となるよう、課室の大括り化を実施する。

また、政策課題への適切な対応を図るため、施策推進に応じて、課室の再編を行う。

令和3年度

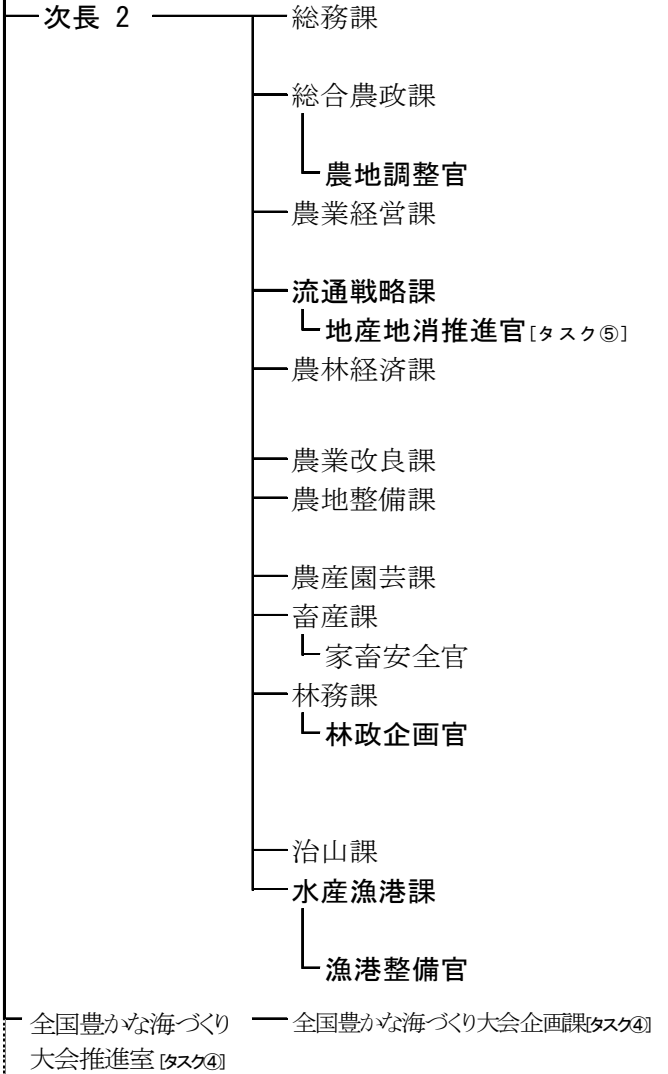
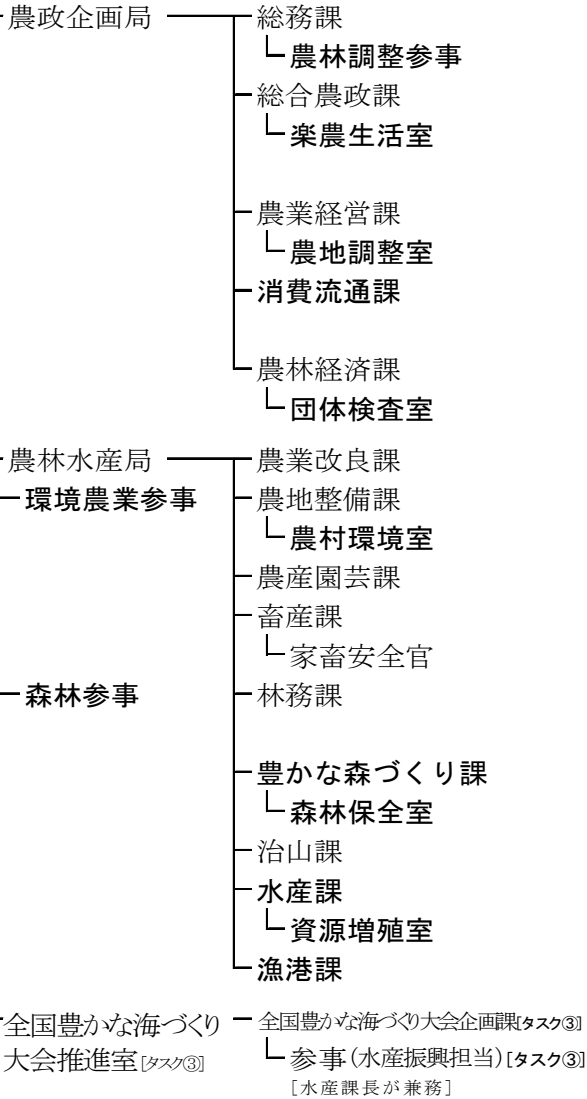
令和4年度

農政環境部

農林水産部

農政環境部長

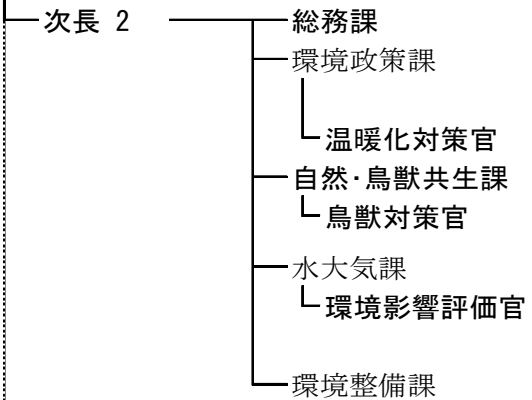
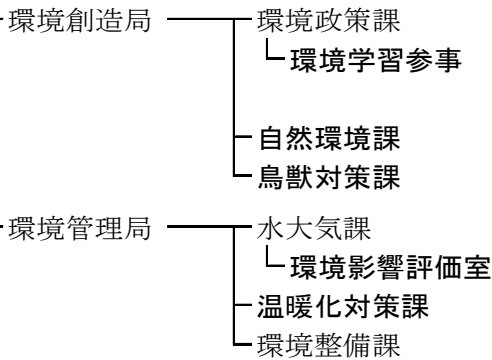
農林水産部長



環境部長

環境部

環境部長



- 県立農林水産技術総合センター
- 家畜保健衛生所 (姫路 朝来 淡路)
- 県立森林大学校
- 森林動物研究センター

- 森林動物研究センター

豊かな海と持続的な 水産業の実現について

令和4年4月

農林水産部水産漁港課

目 次

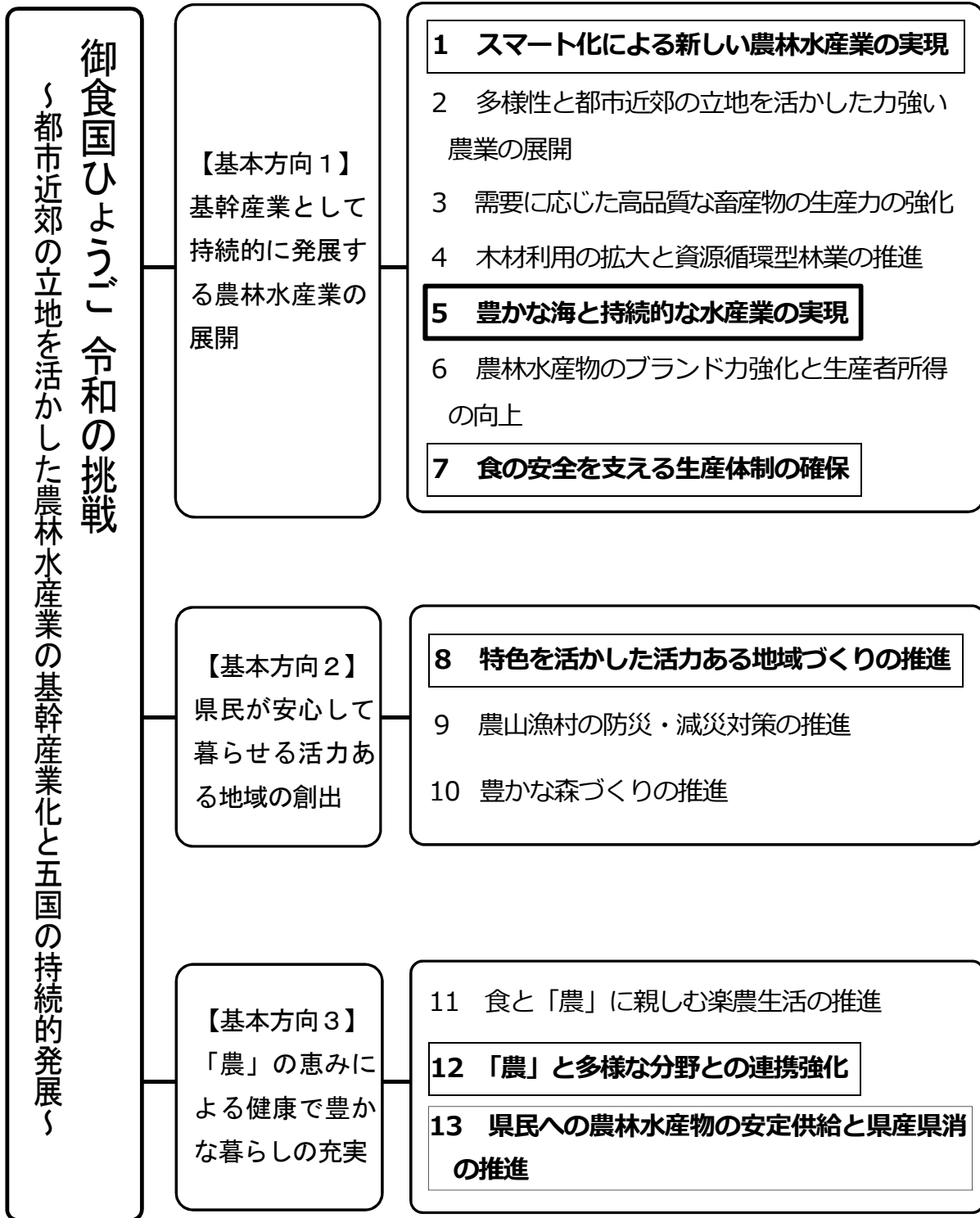
I	水産業の概況	4
II	基本方向等	5
III	豊かな海と持続的な水産業の実現	6
	1 水産資源の適正管理	
	2 瀬戸内海 ～ 豊かで美しい海の再生と漁業の成長産業化 ～	
	3 日本海 ～ 沖合漁業の経営維持と沿岸資源の増大 ～	
	4 経営の安定化	
	5 経営感覚に優れた後継者等の確保・育成	
	6 スマート水産業の推進	
IV	特色を活かした活力ある地域づくりの推進等	18
	1 水産物の需要喚起に向けた魚食普及と消費拡大の推進	
	2 安全安心な流通の確保	
	3 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進	

ひょうご農林水産ビジョン2030施策体系表における位置づけ

【めざす姿】

【基本方向】

【推進項目】



I 水産業の概況

瀬戸内海と日本海に面する本県では、異なる海域の特性に応じた多様な漁業が営まれ、令和2年の産出額は488億円で全国6位、生産量は118千トンを同11位に位置する。

シラスやノリ（養殖）、ズワイガニ、ホタルイカなど、高い全国シェアを誇る魚種も多く、それらを利用した水産加工業も盛んなほか、観光資源としても広く利用され地域の活性化に貢献している。

全国シェアの高い魚種

区分		生産量	全国シェア	全国順位
瀬戸内海	イカナゴ	142 t	2.2%	3
	シラス	13,972 t	23.6%	1
	スズキ類	461 t	8.2%	2
	タコ類	1,549 t	4.7%	2
	マダイ	1,633 t	10.9%	3
	エビ類	684 t	5.5%	3※
	ノリ(養殖)	63,135 t	21.8%	2
	カキ類(養殖)	9,115 t	5.7%	4
日本海	ズワイガニ	787 t	28.1%	1
	ホタルイカ	3,377 t	57.6%	1
	ハタハタ	1,783 t	36.7%	1
	ベニズワイガニ	1,829 t	14.6%	3
	エビ類	714 t	5.7%	3※
	ニギス類	242 t	10.2%	5

令和2年農林水産省統計、兵庫県調べ

※エビ類の全国順位は、両海域とも県(瀬戸内海と日本海の合計)の順位を記載

本県の海面漁業生産状況

区分	本県	全国シェア	全国順位
漁業生産量	117,988 t	2.8%	11
海面漁業	41,498 t	1.3%	20
海面養殖	76,490 t	7.9%	6
漁業産出額	488億円	4.0%	6
海面漁業	237億円	3.1%	8
海面養殖	251億円	5.8%	6

令和2年農林水産省統計

本県の水産加工品生産状況

区分	本県	全国シェア	全国順位
かまぼこ類	45,659 t	11.1%	1
ハタハタ(塩干品)	737 t	48.6%	1
カレイ(塩干品)	897 t	21.9%	2
シラス干し	4,966 t	16.1%	2

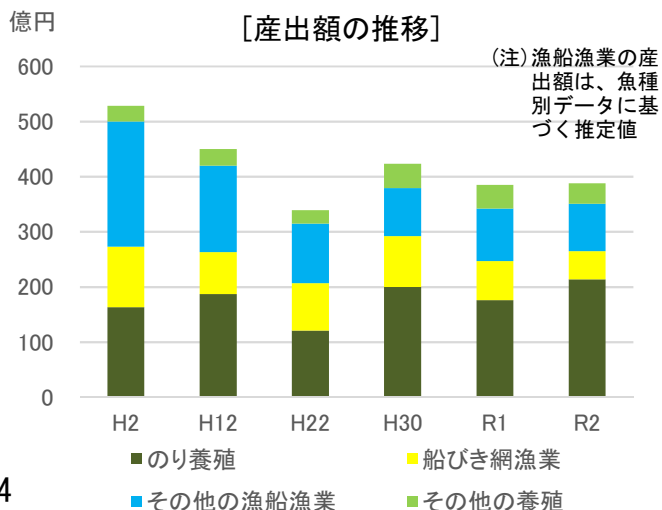
令和2年農林水産省統計

(1) 瀬戸内海

内湾性に富んだ静穏な海域を活かした養殖業が盛んで、漁船漁業は小型漁船による一本釣りや刺し網、小型底びき網、船びき網、まき網など多種多様な漁業種類がある。産出額は388億円で、県内の80%を占めるが、栄養塩類の減少などによる海域の生産力低下が顕在化する中、ノリ養殖が215億円(55%)、シラスやイカナゴを漁獲する船びき網が51億円(13%)を占め、漁業種類の単純化が進んでいる。

瀬戸内海における漁業の概要

- 漁協数：35組合
- 組合員数：4,233人
- 漁船数：5,422隻
- 漁業生産量：106.6千トン
- 漁業産出金額：388億円
(令和2年農林水産省統計、兵庫県調べ)

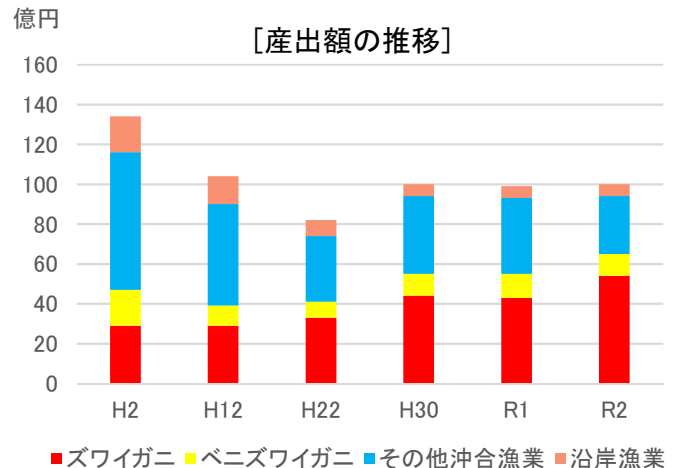


(2) 日本海

冬季の風浪が厳しく浅海域が少ないため、沿岸漁業は難しいが、天然の良港を活用した沖合漁業が発達しており、産出額100億円のうち底びき網やカニカゴ等の沖合漁業が94億円（94%）を占める。魚種別ではズワイガニが54億円（54%）、さらにベニズワイガニの11億円を加えると65%に達し、カニ類への依存が高まっている。沖合漁業は、船員の確保難や多額の設備投資などが事業の承継の障害となり、経営体の減少が続いている。

日本海における漁業の概要

- 漁協数：2組合
- 組合員数：1,730人
- 漁船数：837隻
- 漁業生産量：11.3千トン
- 漁業産出金額：100億円
(令和2年農林水産省統計、兵庫県調べ)

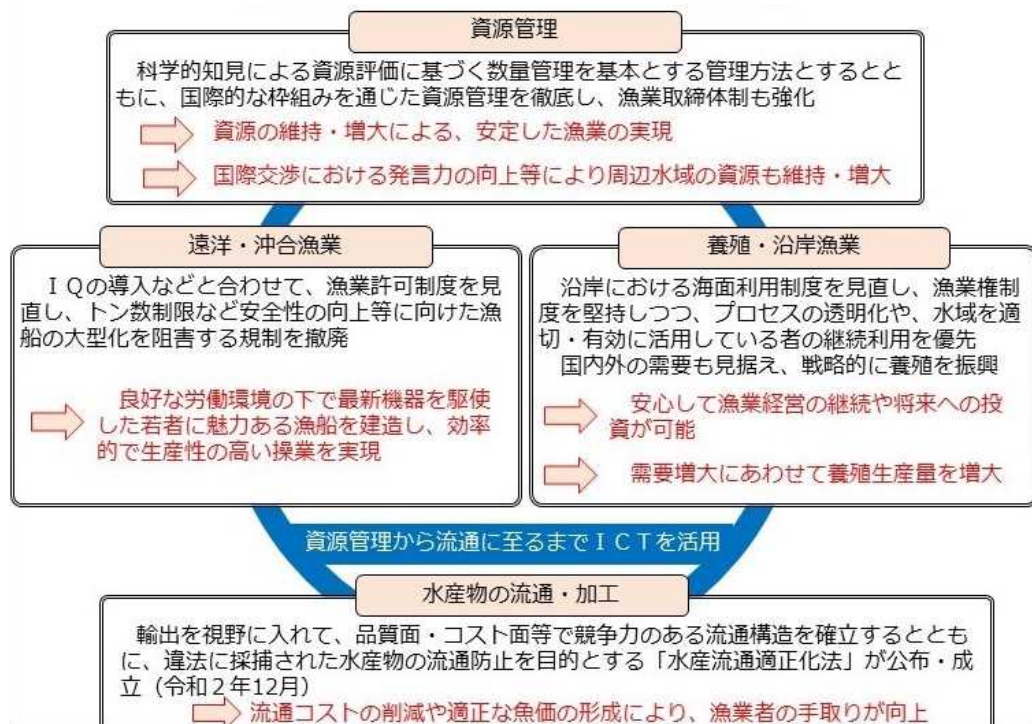


II 基本方向等

生物にとって望ましい環境を求め、漁場整備の推進や増殖場の機能回復・強化、積極的な種苗放流などの取組により、豊かで美しい海の再生を進める。

また、国が進める水産政策の改革に適応し、科学的な資源管理に基づいた漁船漁業と養殖業の持続性を確保するとともに、経営感覚に優れた意欲のある漁業者の育成や海域特性に応じた漁業経営の強化を進め、収益性の高い力強い水産業の確立をめざす。

[水産政策の改革の概要]



Ⅲ 豊かな海と持続的な水産業の実現

1 水産資源の適正管理

(1) 公的管理

水産政策の改革により、漁業権制度などの公的規制の透明化が図られるとともに、資源管理の手法がTAC（漁獲可能量）管理によるアウトプットコントロール主体に変更された。

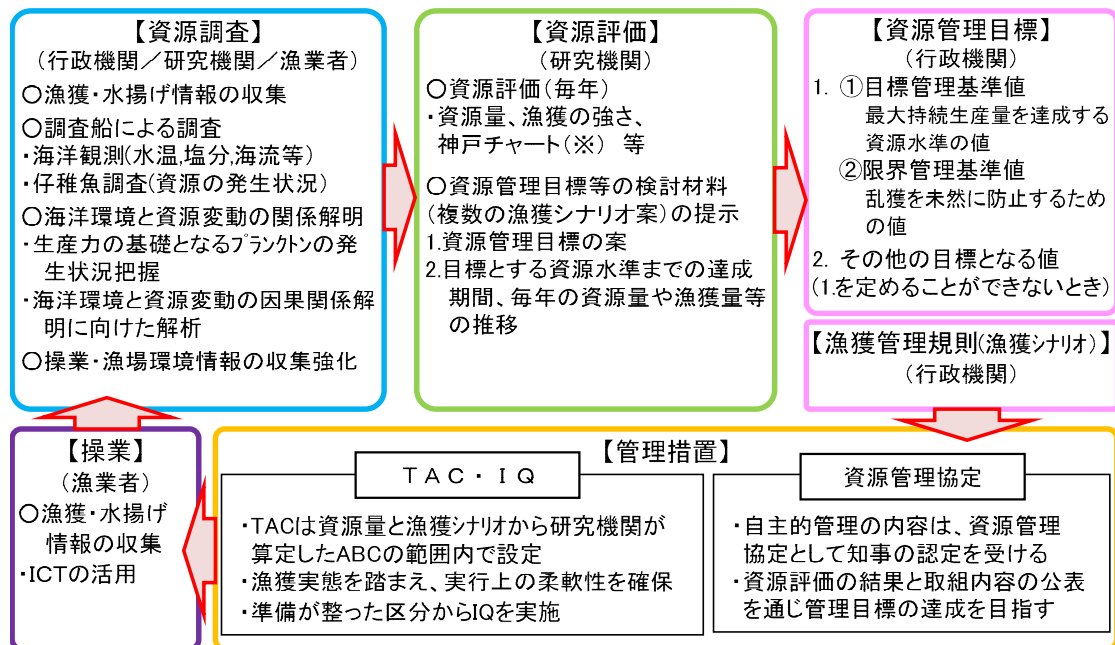
今後、TACの対象種が順次追加される予定で、既に令和5年度までに追加される15種が公表されている。その中には本県の重要種も多く含まれており、漁業者等が改革内容を把握し適切な対策をとれるよう、十分な説明を行い、意見を集約する。

また、新たな資源管理制度の一環として、全ての漁業者に漁獲情報の報告が義務付けられたことから、漁協を対象に必要なシステムの導入を進めている。

[TAC管理追加（予定）魚種]

現行8種	サンマ、スケトウダラ、マアジ、マイワシ、マサバ及びゴマサバ、スルメイカ、ズワイガニ、クロマグロ
R5年度までに追加される15種	カタクチイワシ、ブリ、ウルメイワシ、マダラ、カレイ類、ホッケサワラ、マダイ、ヒラメ、トラフグ、キンメダイ、ムロアジ類、イカナゴ、ベニズワイガニ、ニギス

【新たな資源管理の流れ】



※神戸チャート:資源水準と漁獲圧力について、最大持続生産量を達成する水準と比較した形で過去から現在までの推移を表示したもの

(2) 漁業者の自主的な取組による資源管理の推進

資源の持続的かつ有効な利用のためには、公的管理に併せた漁業者の自主的な取組が欠かせないことから、関係漁業団体と資源管理協議会を組織し、漁業者が自らの取組をまとめた「資源管理計画」の作成と実行を推進している。

また、試験研究による漁海況情報の提供や取組効果の科学的評価などの支援を行うとともに、漁業取締船による海上巡視などにより、公的規制の遵守だけでなく自主的な取組の履行も指導している。

[資源管理計画の作成状況]

(令和3年12月末)

区分	瀬戸内海	日本海	大臣管理	計
計画数	61	11	2	74

[漁業者の取組の代表事例]

イカナゴ（瀬戸内海）

水産技術センターの調査データにより漁業者が協議、網おろし日（適正漁獲サイズ）と網揚げ日（過剰漁獲の抑制）の統一や操業時間短縮等に取り組んでいる。

近年は、極端な資源の悪化により、網おろし日決定サイズの拡大、日々の漁獲状況を確認しながらの網揚げ日決定など、厳しい対策が続いている。

ズワイガニ（日本海 大臣管理）

TACによる公的管理に加え、石川県から島根県の漁業者が組織する「ずわいがに特別委員会」で、漁期の短縮や採捕尾数の制限などを協定している。

さらに、本県と鳥取県の漁業者は、同協定とは別の「因但底曳協議会」を設け、保護区の設定など、さらに進んだ資源管理に取り組んでいる。

(3) 遊漁者等の理解の醸成と資源の利用調整

遊漁者に資源管理に対する理解を求め、公的規制の遵守や漁業者との間の資源や海面の利用調整を図るため、関係者が話し合う「海面利用調整協議会」の設置や多くの遊漁者が集まる「フィッシングショー大阪」などのイベントでの啓発活動を行っている。

[遊漁者と漁業者が参加したルールづくり]

明石市沿岸では、平成28年に遊漁者と漁業者の双方が参加し、マダコ資源の適切な利用調整を目指す「明石市沿岸タコ釣り等のルール」が設けられた。

海上保安庁と協力し、このルールに基づいた遊漁者の指導を行うとともに、漁業者の資源増殖の取組の紹介や公的規制の内容の周知を図っている。



漁業取締船「はやたか」による
遊漁者指導

2 瀬戸内海 ～ 豊かで美しい海の再生と漁業の成長産業化 ～

(1) 豊かで美しい海の再生

ア 漁業者による豊かで美しい海を再生する取組の支援

海底耕うんやアサリ等の放流、二枚貝の外敵となる有害生物の駆除など、藻場や浅場の機能を維持・回復する取組のほか、農業者や消費者と協働して行うため池のかいぼりや漁業者の森づくり、海浜清掃など、漁業者による取組を支援している。



ため池の「かいぼり」の実施
(農漁業者のほか、大学生等も参加)



漁業者と消費者（コープこうべ組合員等）による
森づくり（左）と海浜清掃（右）



[支援した活動の実績（令和3年度）]

支援事業名	活動内容	活動規模	
		組織数	構成員数
豊かな海創生支援事業	○浅場の海底耕うん ○二枚貝の放流 ○有害生物駆除 ○かいぼり ○海岸・海域清掃 ○水域監視 ○教育・学習の取組 ○藻場保全など	35	2,862人
離島漁業再生交付金	○種苗放流、投石礁の設置 ○産卵礁の設置、海底ゴミ回収	対象離島 家島、坊勢島、沼島	
瀬戸内海環境改善 海底耕うん等事業	○海底耕うん（概ね10m以深）	延べ400隻	

[海底耕うんPROJECT]

漁業者が意欲的に取り組む海底耕うんは、実施後のモニタリング調査で、底生生物の増加のほか、養殖ノリの色落ちの回復などが確認されている。

明石浦漁協と東播磨県民局では、「海底耕うんPROJECT」と名付け、取組を紹介する動画2本とチラシを作成した。

制作した動画を「サステナアワード2021伝えたい日本の“サステナブル”」に応募し、92作品の応募の中から最優秀賞にあたる農林水産大臣賞を受賞した。

受賞作品は、農林水産省ホームページや公式YouTubeチャンネルで紹介されるほか、農林水産省、消費者庁、環境省の様々な展示イベント等、国内外で発信される。



農林水産大臣賞受賞

イ 漁場整備の推進

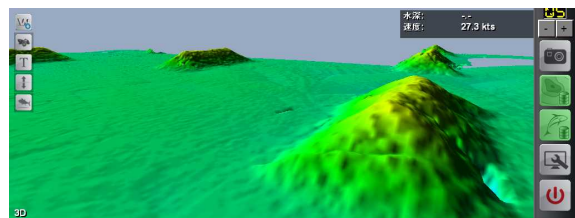
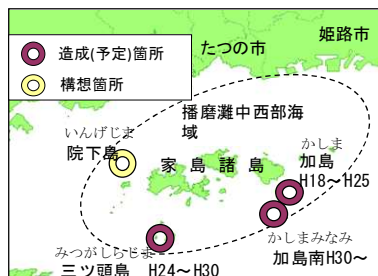
漁業生産の安定を目指し、マダイ、スズキ、アジ等を集める魚礁の設置や、ズワイガニ、アカガレイ、メバル等の産卵親魚の保護や稚魚の育成を図る増殖場の造成、既存増殖場の機能回復や強化を図るための調査を進めている。

事業種目	R3実績(地区名)	R4実施(地区名)
並型魚礁(市町営[補助]) 共同漁業権内 概ね1,500空m ³	南あわじ市、家島	南あわじ市
大型魚礁(県営) 共同漁業権外 概ね2,500空m ³ 以上	東浦第2	東浦第3
増殖場(県営) 稚魚の育成や産卵親魚の保護を目的に造成	加島南、五色、神戸沼島第3、丸山三ツ頭島、西播磨瀬戸内海沿岸	加島南第2、神戸沼島第4、湊一宮、西播磨瀬戸内海沿岸

[第2の鹿ノ瀬構想]

平成18年度から、播磨灘中西部において、天然の好漁場として知られる鹿ノ瀬に匹敵する大規模な漁場の整備を進めている。

完成済みの2地区は、漁業者の要請を受けた瀬戸内海海区漁業調整委員会が漁業法に基づく指示を行い、全ての水産動植物の採捕を禁止して産卵親魚等の保護機能を強化し、増殖効果の早期発現を図っている。



漁業取締船「はやたか」搭載の3Dソナーによる加島地区増殖場(石材礁)の海底地形図

ウ 種苗放流

兵庫県第7次栽培漁業基本計画(平成28~令和4年度)に基づき、多様な魚種の種苗を生産、放流している。

令和2年度から、摂餌した海底の堆積物を消化・分解して体外(海中)へ放出することで、豊かな海の再生に役立つマナマコ、クマエビを「豊かな海再生種苗」と位置づけて量産化試験に取り組んでおり、令和4年度から本格的に生産・放流する。



マナマコ



クマエビ

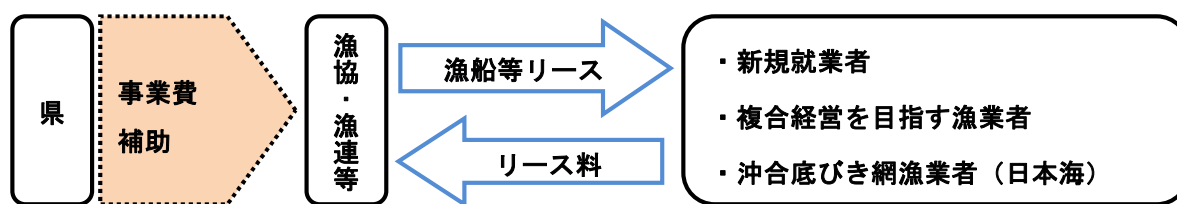
[令和3年度種苗生産・放流実績(千尾・千個)] (瀬戸内海)

魚種	生産実績	放流実績	放流サイズ等
マダイ	320	244	50mm
ヒラメ	936.4	514.5	50mm (神戸市分含む)
マコガレイ	350	300.9	20-35mm (R2生産分)
オニオコゼ	120	93	50mm
カサゴ	250	5.5	40mm (姫路市分)
キジハタ	40.6	40.6	50mm
アワビ類	70.7	70.7	20mm
サザエ	125.5	123.5	15mm
アサリ	8,975	1,850	5mm以上
ガザミ	4,466	4,070	C1(約4.5mm)
クルマエビ類	4,563.5	3,019	30mm
アカウニ	110	110	10mm
[マナマコ]	[79]	—	量産化試験
[クマエビ]	[2,296]	—	量産化試験
合計	20,327.7	10,441.7	[]内を除く

(2) 漁業の成長産業化

ア 漁船漁業経営の高度化

平成28年度から、漁船や省力化機器等を新規就業者や複合経営を目指す漁業者などにリースして、設備投資にかかる負担を軽減し、円滑な着業や経営の高度化を図る取組を支援している。



[漁業施設貸与事業の実績(令和3年度)]

漁業種類	小型底びき網	沖合底びき網	合計
隻数	1	2	3

イ 収益性の高い養殖業の確立

海域の生産力が低下する中、国においても漁業制度改革の一環として、養殖業の振興に本格的に取り組むことを掲げている。

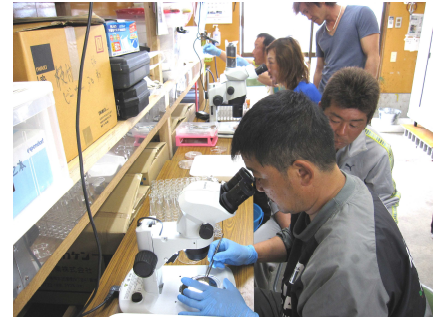
このような中、本県では、既に基幹漁業として高い全国シェアを誇るノリ、カキの生産の安定を図るとともに、アサリやサーモンなど、新たな品種の導入や新技術の開発、普及を推進している。

① 藻類（ノリ、ワカメ）

藻類は、栄養塩の不足や水温低下の遅れなど、近年の漁場環境の変化に大きく影響を受けている。

このため、養殖管理に必要な栄養塩濃度や水温などの観測データを迅速に提供して漁業者を支援するとともに、高水温に強い品種の開発や食害対策などに取り組んでいる。

ワカメについては、漁業者に採苗に必要な技術を移転し、種苗の量産化が実現した。引き続き、技術の向上と品質安定化に向けた支援を行う。

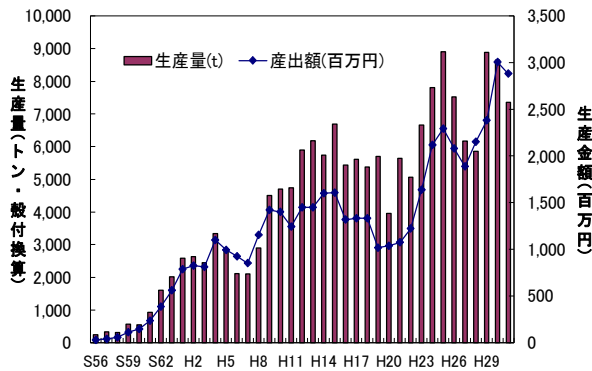


漁業者による採苗作業
(南あわじ市)

② 貝類（カキ、アサリなど）

順調に生産を拡大、西播磨の特産として定着した「播磨灘産カキ」に対し、品質保持と生産の安定のため、養殖密度の適正化の指導や餌となる植物プランクトンの発生情報の提供を行うとともに、シングルシードやイワガキなど特色を持った新品种の導入を支援している。

また、新たな県産ブランドとして期待されているアサリ養殖は、増え続ける種苗需要を満たすため、県産種苗の配布に加え、漁業者による種苗生産やより小型の種苗から養殖を開始する技術など、新技術の開発と普及を進めている。



カキ養殖の生産推移



養殖アサリ（たつの市）

③ 魚類（トラフグ、サーモンなど）

魚類養殖は、給餌を行うことから栄養塩不足に左右されず「淡路島3年とらふぐ」や「坊勢さば」、「神鍋清流サーモン」など、各地で様々なブランドが生まれている。

このうち、近年全国的にも注目されている国産養殖サーモンについて、水産技術センターに水温や塩分濃度を調整できる飼育水槽を整備し、より早く大きく育てる技術の開発を進めている。



淡路島サクラマス（南あわじ市）

3 日本海 ～ 沖合漁業の経営維持と沿岸資源の増大 ～

(1) 沖合漁業の経営維持

ア 改革型漁船への転換の推進

収益性の劣る老朽船の解消のため、国事業と県事業を組み合わせ、燃料費など操業コストの削減や漁獲物の付加価値向上、船員の定着を図るための就労環境の改善などに必要な装備を取り入れた改革型漁船の建造を推進している。



令和3年6月に竣工した沖底漁船

[改革型漁船建造実績]

種類	在籍漁船数	H19～R3 実績	R4 計画
沖合底びき網	40	8	1
ベニズワイカニカゴ	9	1	1

イ 船員の確保・育成

沖合漁業の慢性的な船員不足を解消するため、平成23年度から、未経験の船員就業希望者を対象に漁協等が行う実地研修を支援している。

[船員就業希望者研修実績]

区分	参加人数	就業者数
H23～R2	61人	33人
R3	5人	5人
累計	66人	38人



沖合底びき網漁船での研修

ウ 沖合増殖場の整備

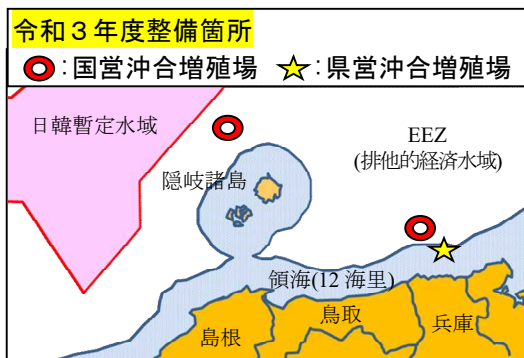
平成19年度から本県漁業者が操業する日本海西部海域において、ズワイガニ等を対象とした国営増殖場の整備が進められており、本県も整備費用の一部を負担している。

完成済みの27箇所（計画32箇所）は、漁業者が保護区として操業を自粛し、効果の確実な発現を図っている。

また、本県でも、平成29年度から令和3年度にかけて香住沖で、この国営事業と連携した増殖場を整備した。

[沖合増殖場造成実績]

事業種目	R3 実績（地区名）	R4 計画（地区名）
国営 増殖場造成	但馬沖、隠岐北方	赤碕沖
県営 増殖場造成	香住沖	—



魚礁ブロックに集まるズワイガニ

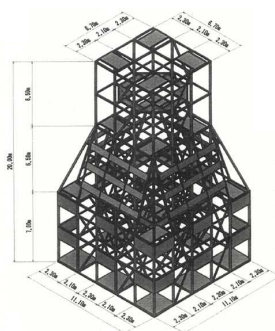
(2) 沿岸資源の増大

ア 漁場の整備

漁場の生産力向上のため、一本釣りや定置網等で漁獲される回遊魚等の増集効果を持った魚礁を中心に整備を進めている。

[沿岸漁場整備実績]

事業種目	R3実績 (地区名)	R4計画 (地区名)
並型魚礁 (市町営)	豊岡市	豊岡市
大型魚礁 (県営)	香住第5	香住第6



高層型の鋼製組立魚礁

イ 種苗放流

兵庫県第7次栽培漁業基本計画（平成28～令和4年度）に基づき、一本釣りや潜水等の沿岸漁業が対象とする魚種の種苗を生産、放流している。

[令和3年度種苗生産・放流実績(千尾・千個)] (日本海)

魚種	生産実績	放流実績	放流サイズ
マダイ	300	240	50mm
ヒラメ	200	70	50mm
カサゴ	11	11	40mm
キジハタ	3.5	3.5	50mm
アワビ類	19.3	19.3	20mm
サザエ	20	20	15mm
合計	553.8	363.8	

(3) 外国漁船対策

我が国は、日本海側で韓国、北朝鮮、ロシアと対面し、その何れとも排他的経済水域の境界確定ができていない。このため、日韓漁業問題や大和堆周辺の違法操業問題が生じており、更に頻発する北朝鮮によるミサイルの発射も加わり、本県の漁業者に深刻な影響を与えている。

これらは、全て国家間において解決されるべき課題であるため、漁業者及び関係府県と連携し、国に対して抜本的解決を求めるとともに、解決されるまでの間の影響緩和策の継続などの要望を続けている。

ア 日韓漁業問題

平成11年の日韓漁業協定発効により設定された広大な暫定水域は、日韓両国の漁業者による利用が予定されていたが、設定当初から韓国側に独占され、我が国の漁船が操業できないだけでなく、資源状態の把握すら十分にできない状態が続いている。

しかし、同水域の利用を調整する日韓漁業共同委員会は、平成28年に決裂したまま、再開の見込みが立っていない。

イ 大和堆周辺における集団違法操業

大和堆周辺では、スルメイカ等を目的とした多数の外国漁船が我が国排他的経済水域内に侵入し、資源を収奪するとともに、我が国の漁船の操業を妨げている。

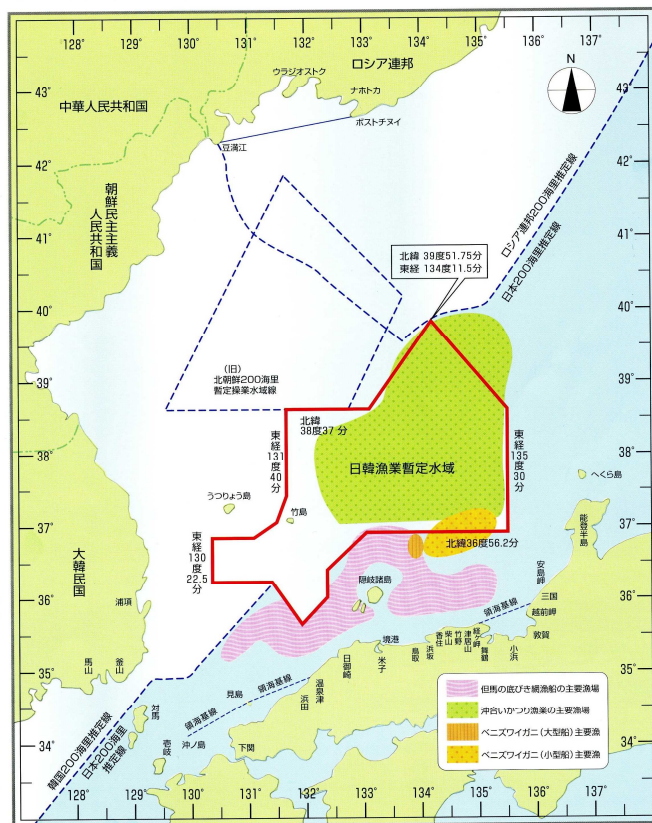
ウ 北朝鮮によるミサイル発射等

北朝鮮によるミサイル発射が頻発し、漁業者の不安が増している。

国に解決を要望するほか、県では、香住漁業無線局で、365日24時間、本県漁船の現在位置の把握や操業安全に必要な情報の迅速な伝達、発射事案発生時の安否確認などを行っている。

◎日韓漁業暫定水域の概念図

(日韓新漁業協定発効：平成11年1月22日)



無線局の機器類

4 経営の安定化

(1) 漁業制度資金の融通

ア 漁業近代化資金【利子補給】

漁業者や水産加工業者の資本装備の高度化を図り、経営の近代化に資することを目的に、長期の設備資金を融通している。

イ 豊かな海づくり資金【利子補給】

漁業者や水産加工業者等の事業に必要な運転資金のほか、災害資金など幅広い需要に対応した、低利の資金を融通している。

ウ 新型コロナウイルス感染症等の対策【利子補給】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業者等に向け、豊かな海づくり資金のうち災害資金を拡充し、特定枠を設けた。

〔比較表：豊かな海づくり資金（災害資金）〕

区 分	災害資金・一般	災害資金・特定 (新型コロナウイルス感染症対策)
貸付限度額	個人 500万円 法人 1,000万円	個人 1,000万円 法人 2,000万円
貸付利率	0.02%	当初3年間無利子化(県・市町上乗せ)
融資率	80%	100%
償還期限	5年以内 (うち据置1年以内)	7年以内 (うち据置2年以内)

エ 沿岸漁業改善資金（融資枠:1.5億円）【直接貸付】

沿岸漁業者の経営合理化や担い手の育成確保などを目的に、無利子の資金を貸し付けている。

〔漁業制度資金の利用実績〕

区 分		H29	H30	R1	R2	R3	主な事例
漁業近代化資金	件数	173	167	210	213	133	漁船、漁船用機関、魚探、ノリ全自動乾燥機 等
	うち上乗分	2	1	8	0		
	金額(百万円)	2,382	1,909	3,047	3,040	1,763	上乗分：漁業経営基盤強化金融支援事業
	うち上乗分	30	34	748	0		
豊かな海づくり資金	件数	45	47	48	197	73	水産加工用原料魚、ノリ養殖用種網、魚類養殖用餌料、カキ養殖種苗、燃油の購入 等
	うちコロナ対策	-	-	-	135	28	
	うち貝毒対策	-	-	-	15	-	
	金額(百万円)	506	534	772	1,608	705	
	うちコロナ対策	-	-	-	923	112	
	うち貝毒対策	-	-	-	109	-	
沿岸漁業改善資金	件数	3	4	0	0	0	漁船機関、レーダー、GPS受信機 等
	金額(百万円)	12	11	0	0	0	

※沿岸漁業改善資金は、漁船機関等を対象にする国の補助事業が設けられたため、貸付が減少している

(2) 燃油高騰対策

ア 漁業用燃油の供給安定化

漁業者に燃油を供給する県漁連の仕入れコストを軽減するため、燃油の一括購入にかかる豊かな海づくり資金への利子補給により、漁業用燃油の価格と供給の安定化を図っている。

イ 漁業経営セーフティーネット構築事業の利用推進

燃油・配合飼料価格が上昇したときの影響を緩和するため、価格が上昇した際に、漁業者・養殖業者と国の拠出により積み立てられた基金から補填金を交付するセーフティーネット構築事業の利用を推進している。

[セーフティーネット構築事業（燃油）の加入状況]

件数	数量	補てん実績 (R3.4~R3.12)
1,720	65,933 k l	540百万円

(3) 共済加入の推進

ア 漁業収入安定対策制度の推進

適切に資源管理に取り組む漁業者等を対象に、国が掛け金の追加補助や減収補てんのための積み立てを行う漁業収入安定対策事業において、資源管理の取組の指導や履行の確認などを通じて制度を推進し、共済制度による漁業経営の安定化を図っている。

[漁業収入安定対策の活用状況]

収入安定対策 加入件数	対策活用者の 漁業生産額(A)	県内漁業生産額 (B)	対策活用者の割合 (A/B)
961	44,007百万円	48,837百万円	90%

イ 養殖漁業（魚類）の赤潮等による被害の補償

通常の契約では支払対象とならない異常な赤潮等による損害を補てんする、赤潮特約にかかる掛け金を、国と共に助成している。（負担割合 国2/3 県1/3）

[赤潮特約の加入状況]

対象魚種	加入件数
たい、ふぐ、さくらます	13（加入率100%）

【農林水産ビジョン2030 成果指標】

指標名	現状(R2)	中間 (R7)	目標(R12)
漁船漁業生産量 (千トン/年)	41	46	47
海面養殖生産量 (千トン/年)	76	69	72

5 経営感覚に優れた後継者等の確保・育成

(1) 新規就漁者の確保

就漁希望者を対象に漁協等が行う漁業現場での実地研修を支援する、国の「経営体育成総合支援事業」の活用を進めている。

〔経営体育成総合支援事業の実績(令和3年度)〕

区分	参加人数	修了者数	研修継続者数	研修期間
雇成型	12人	6人	6人	最長2年
独立型	47人	6人	41人	最長4年

(2) 本県水産業を先導する人材の育成

将来の水産業を先導する人材育成のため（一財）兵庫県水産振興基金が設けた「大輪田塾」に協力し、講師の派遣や修了論文の作成指導を行っている。

これまでに78名の塾生が課程を修了、組合長や役員に抜擢されるなど大きな成果を挙げており、現在も10名の塾生が在籍している。



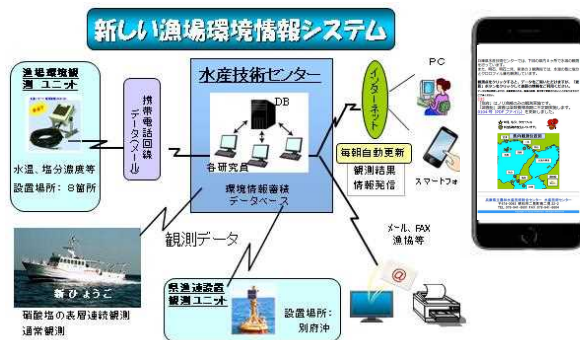
【農林水産ビジョン2030 成果指標】

指標名	現状(R2)	中間(R7)	目標(R12)
新規就業者数(人)	50	45	45

6 スマート水産業の推進

県内8カ所に設置した自動観測機で測定した水温、塩分、クロロフィルのデータを漁業者がスマートフォン等で手軽に利用できる、漁場環境観測システムを運用している。

また、県漁連が進める、AI技術を活用した乾ノリの色調検査システムの導入を目指した取組を支援するため、その検討に参画している。



漁場環境観測システムの概要と
水温観測情報のスマートフォン画面(右)

(<http://www.hyogo-suigi.jp/sp/>)

「兵庫のりスマート流通プロジェクト」実現前後の変更点



兵庫のりスマート流通プロジェクトの概要

IV 特色を活かした活力ある地域づくりの推進等

1 水産物の需要喚起に向けた魚食普及と消費拡大の推進

(1) 魚食普及の推進

学校給食・食育支援センター等と連携した料理教室、魚食普及リーダーの育成、大学生協と連携した水産物の販売など、県漁連や漁業者等が行う様々な魚食普及活動を支援している。

令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による新しい生活様式に対応するため、オンライン料理教室の開催や調理方法の動画配信も進めている。



オンライン料理教室の開催(県漁連)

[料理教室開催実績(令和3年度)R4.1末現在]

[うちオンライン料理教室開催実績]

回数	参加人数	回数	参加人数
245回	延べ 6,323人	13回(4~1月)	延べ 67人

県漁連による学校給食への食材提供実績(令和3年度国産農林水産物等販売多様化緊急対策事業分)

食材名	提供食数
赤エイ唐揚げ、マダイ切身、生のり佃煮、味付け海苔、焼海苔等	1,652千食

(2) 観光分野と連携した消費拡大

大嘗祭での献上を契機とした淡路島産マダイ「淡路島えびす鯛」、「但馬産ズワイガニ普及推進協議会」、「香美町とと活隊」など漁業者が観光事業者や水産加工業者等と連携して行う、地元産水産物の認知度向上や販売促進などの取組を支援している。

「淡路島の生しらす」や「浜坂地えび食べくらべ」、見学船を使った漁業体験など、産地や生産者を訪れてもらう取組が好評で、来夏のDCキャンペーンでの活躍も期待されている。



淡路島えびす鯛を扱う飲食店等紹介冊子

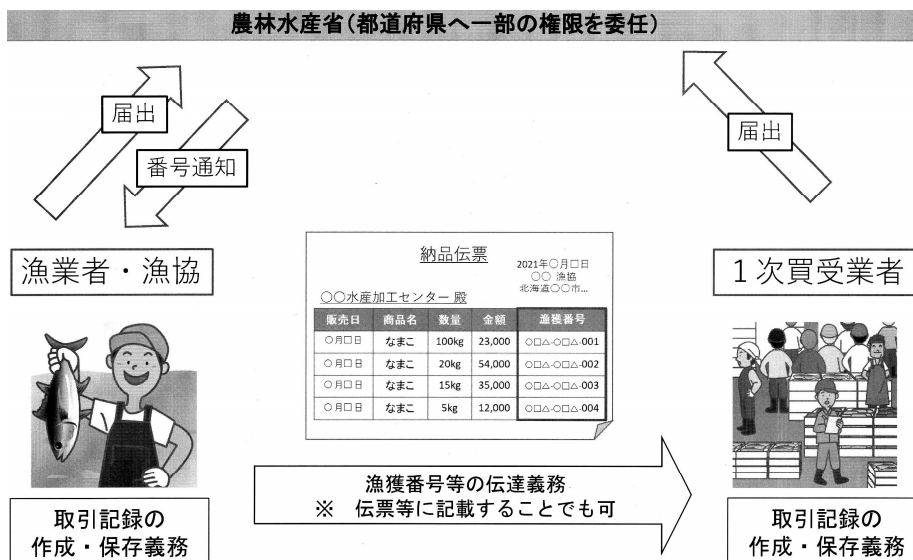


漁業見学船から定置網漁業を見学する参加者(姫路市)

2 安全安心な流通の確保

(1) 違法に採捕された水産動植物の流通防止

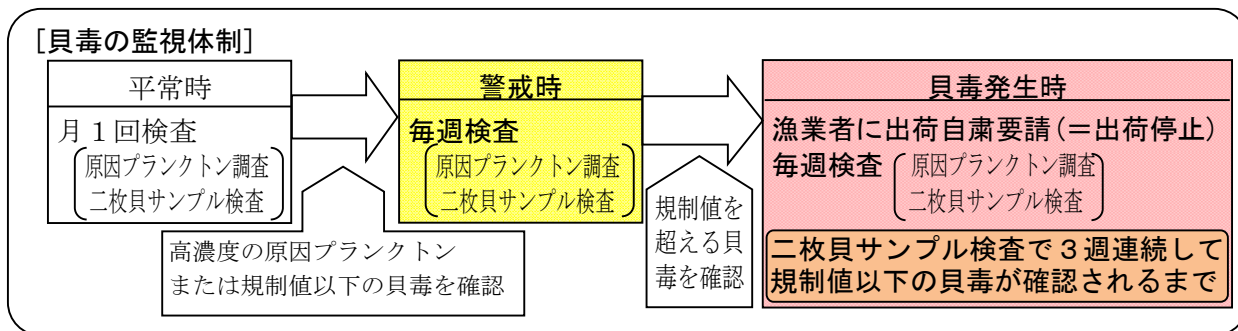
「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律」の施行に備え、アワビ、ナマコを採捕する漁業者や取り扱いのある漁協等に対し、必要な指導を進めている。



(2) 貝毒監視体制の整備

アサリやマガキ等の貝毒蓄積状況を監視し、毒化した貝の流通を未然に防止すると共に、県民への的確な情報提供に努めている。

また、出荷自主規制期間の短縮に向け、減毒傾向の調査・分析を行うなど、県民の安全安心と漁業者の経営安定の両立に向けた取組を推進している。



[監視実績]

監視対象種	監視地点	監視回数	検体数
アサリ、マガキ、イワガキ、トリガイ、アカガイ、ナミガイ	17カ所	64回	147検体

3 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進

内水面漁業の振興に関する法律に基づく都道府県計画「ひょうご内水面漁業振興方策」を定め、増殖手法の確立や河川環境の保全を進めている。

内水面漁協の現況 (R2 年度末現在) 漁協数：21 組合、組合員数：4,000 人

(1) 内水面水産資源の増殖

アユと並び遊漁者に人気の高いサツキマス・サクラマスの資源増大を目指し、降海率の高い下流域で稚魚の放流試験を行っている。

また、河川と比較して環境が安定しているダム湖を活用するため、神戸大学の協力のもと、環境 DNA 解析手法を用いたダム湖に適した魚種選定試験を行っている。



放流するサツキマス(アマゴ)稚魚

(2) 内水面生態系の維持保全

河川の清掃や魚介類の移動を阻害する魚道内の堆積土砂の除去、ウナギなどの棲みかとなる石倉の設置、外来魚やカワウの効率的な駆除・防除対策など、内水面漁業者等が行う河川の生態系を保全する活動やそれらを通じた環境学習を支援している。

[令和3年度の活動状況]

活動組織			主な活動
関係市町	活動組織数	構成員数	
加古川市他 21 市町	13	2,116 人	・河川清掃、環境学習 ・石倉のモニタリング調査 等



子供を対象とした環境学習 (加古川)



石倉の効果観察 (揖保川)

第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会

みけつくに
～御食国ひょうご～

令和4年4月

農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室
全国豊かな海づくり大会企画課

目 次

I 全国豊かな海づくり大会

1 開催趣旨	4
2 主 催	4
3 開催状況	4

II 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会の開催

1 大会の概要	5
2 式典行事	7
3 海上歓迎・放流行事	8
4 招待者へのおもてなし	9
5 関連行事	10

III 大会の開催準備

1 実行委員会の設置・運営	11
2 大会実施本部の設置	11
3 作品コンクールの実施	11

IV 機運醸成と広報

1 1年前プレイベント・関連イベントの開催（令和3年度）	12
2 大会記念リレー放流	13
3 豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト	14
4 大会テーマソングを通じた豊かな海づくりの啓発	16
5 100日前カウントダウンイベントの開催	16
6 幅広い広報活動の展開	16

V 豊かな海づくりに向けた県民運動の展開へ

1 瀬戸内海の貧栄養化と豊かな海づくりへの本県の取組	19
2 県民総参加の大会	19
3 県民運動の展開へ	20

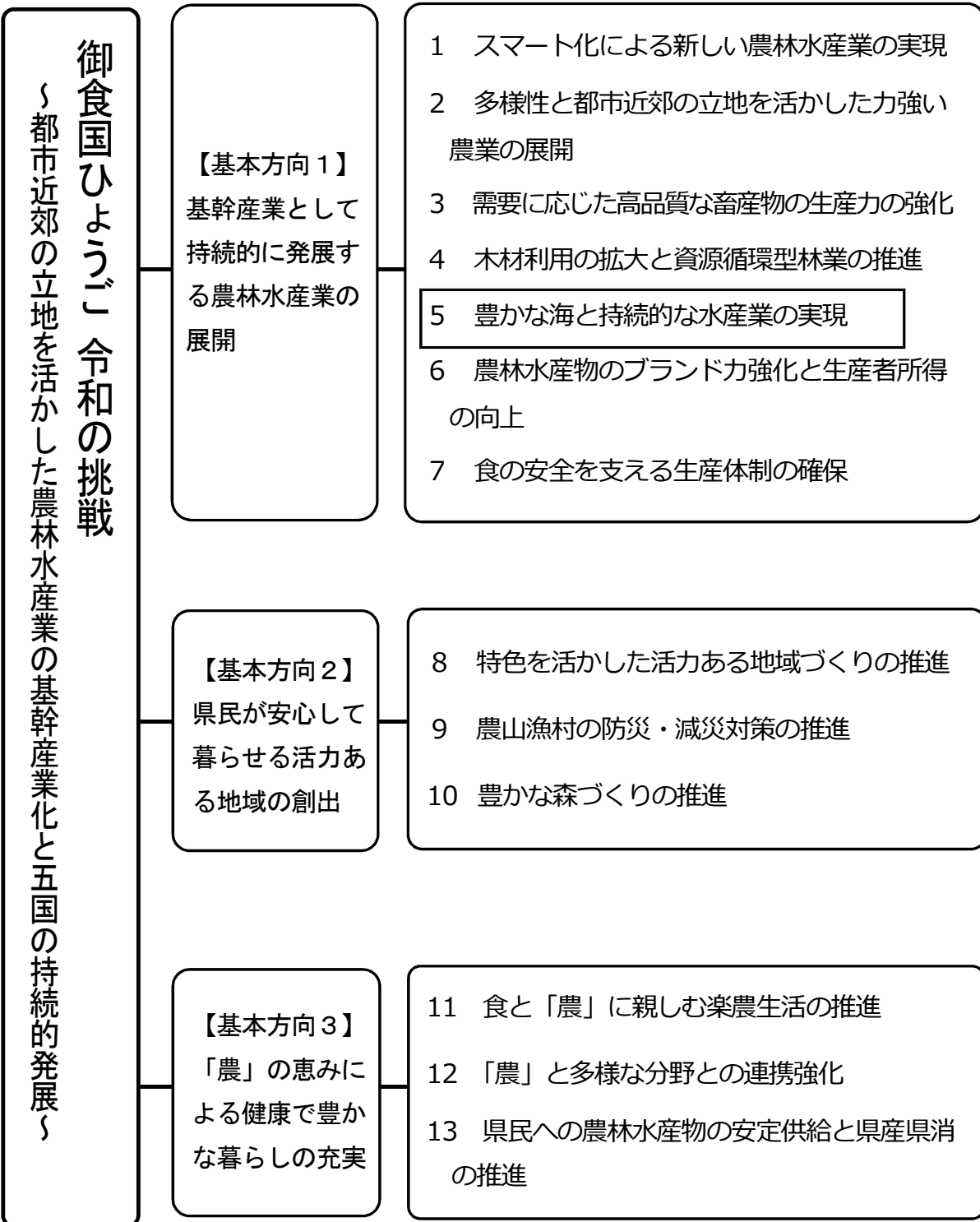
【参考】 県民総参加に向けた大会スケジュール	21
------------------------	----

ひょうご農林水産ビジョン2030施策体系表における位置づけ

【めざす姿】

【基本方向】

【推進項目】



I 全国豊かな海づくり大会

1 開催趣旨

四行幸啓の一つに位置づけられている本大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川環境保全の大切さを広く国民に訴え、つくり育てる漁業の推進を通じて水産産業の振興と発展を図ることを目的に、毎年全国各地で開催されている。

2 主催

全国組織である「豊かな海づくり大会推進委員会」及び開催都道府県が設置する大会「実行委員会」との共催で行われる。

※豊かな海づくり大会推進委員会

大会運営のため設置され、衆議院議長が最高顧問となり、会長は全国漁業協同組合連合会代表理事会長が務める。委員は、(公社)日本水産資源保護協会会長、(公社)全国漁港漁場協会会長など、主に水産中央団体の長で構成される。

3 開催状況

本県は、昭和57年7月の第2回大会を旧城崎郡香住町（現美方郡香美町）で開催して以来、全国で初めて2度目の開催地となる。

回	年度	開催地	回	年度	開催地	回	年度	開催地
第1回	昭56	大分県	第15回	平7	宮崎県	第29回	平21	中央大会
第2回	昭57	兵庫県	第16回	平8	石川県	第30回	平22	岐阜県
第3回	昭58	和歌山県	第17回	平9	岩手県	第31回	平23	鳥取県
第4回	昭59	三重県	第18回	平10	徳島県	第32回	平24	沖縄県
第5回	昭60	北海道	第19回	平11	福島県	第33回	平25	熊本県
第6回	昭61	福井県	第20回	平12	京都府	第34回	平26	奈良県
第7回	昭62	鹿児島県	第21回	平13	静岡県	第35回	平27	富山県
第8回	昭63	茨城県	第22回	平14	長崎県	第36回	平28	山形県
第9回	平元	広島県	第23回	平15	島根県	第37回	平29	福岡県
第10回	平2	青森県	第24回	平16	香川県	第38回	平30	高知県
第11回	平3	愛知県	第25回	平17	神奈川県	第39回	令元	秋田県
第12回	平4	千葉県	第26回	平18	佐賀県		令2	(延期)
第13回	平5	愛媛県	第27回	平19	滋賀県	第40回	令3	宮城県
第14回	平6	山口県	第28回	平20	新潟県	第41回	令4	兵庫県

(参考)

※第29回大会(平21)は豊かな海づくり大会推進委員会が単独で主催し東京都で開催

※昭56～62皇太子同妃両殿下、昭63清子内親王殿下、平元～天皇皇后両陛下がご臨席

※令和3年宮城大会では、天皇皇后両陛下はリモートでご臨席

※第42回大会(令5)は北海道、第43回大会(令6)は大分県で開催予定

II 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会の開催

瀬戸内海を中心に栄養塩の減少による水産資源への影響が深刻となる中、「豊かな海」の創出に取り組む本県の姿を全国に発信しその取組の輪を広げ、水産業の一層の振興・発展を図るとともに、ひょうごの豊かで多彩な魅力を全国に発信する絶好の機会とするため、第41回全国豊かな海づくり大会を兵庫県で開催する。

1 大会の概要

- (1) 名称 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会
みけつくに
～御食国ひょうご～
- (2) 日程 令和4年11月13日(日)
- (3) 主催 豊かな海づくり大会推進委員会
第41回全国豊かな海づくり大会兵庫県実行委員会
- (4) 開催場所 [式典行事] 明石市立市民会館
[海上歓迎・放流行事] 明石港ベランダ護岸
※招待者は式典終了後、放流会場へ徒歩で移動し、双方の行事に参加。
- (5) 規模 招待者約500名(うち県外招待者280名)
- (6) 関連行事 令和4年11月12日(土)、13日(日)
※明石公園西芝生広場ほか、姫路、但馬、淡路の県内3箇所のサテライト会場(13日のみ)で開催。



大会キャラクター
はばタン



大会公式ポスター

(7) 大会のコンセプト

豊かな海の創出に向けた兵庫の先導的な取組を全国に発信し、取組の輪を広げる。

<大会テーマ>

「広げよう 碧く豊かな海づくり」

※植物プランクトンが適切な濃度の「碧い海」が全国に広がることを期待。

<大会ロゴ>



- ① 式典行事の演出では次代を担う高校生がナビゲーターを務め、漁業後継者と手を携え、「碧く豊かな海」の未来を誓う。
- ② 海上歓迎・放流行事では100隻規模の漁船団パレードを実施し、豊かな海の創出を目指す漁業者の意気込みを全国にアピールする。

※大会テーマ及び大会キャラクター「はばタン」のコスチュームは公募により決定した。

(8) 大会実施における感染対策

① 座席配置

式典会場では概ね1mのソーシャルディスタンスを確保するため、座席の左右を1席ずつ空け、収容率を50%以内（参加規模：約500名）とする。

② 演出

- ・式典行事での演奏は管楽器の使用を控え、弦楽器のみの演奏とする。
- ・プロローグ等はダンス等の身体運動を控え、映像とナレーション中心の構成とする。

■ 行事構成

区分		絵画・習字優秀作品御覧・御懇談	式典行事	海上歓迎・放流行事	関連行事
			明石市立市民会館	明石港ペランダ護岸	明石市ほか 姫路・但馬・淡路
11月12日(土)	10:00		(総合リハーサル)	(総合リハーサル)	関連行事 【両日終日】 ・ステージイベント ・企画展示 ・ふれあい体験 ・特産品販売 等
	17:00	※(神戸市内にて)			
11月13日(日)	10:00		式典行事	移動・昼食	映像生中継(式典)
	12:30			↓	
	14:00			海上歓迎・放流行事	映像生中継(海上歓迎・放流)
	14:30				
	16:00				

※大会を記念して行う「絵画・習字コンクール」の優秀作品を両陛下に御覧いただき、引き続き、功績団体受賞者及び県内漁業者と御懇談。

■ 会場全体図



2 式典行事 令和4年11月13日(日) 予定時間: 10:00~12:30

厳粛で品位のある進行を基本に、豊かな海の大切さを兵庫から全国に発信するとともに、「豊かで美しい海」を次世代に繋ぐことを誓う演出とする。

演出や進行には、県内の高校生、地元の児童・生徒を起用し、次代を担う若者の「豊かな海づくり」に向けた意識付けを一層促す。

■ 進行 司会: MBS毎日放送アナウンサー

プログラム	内容・演出
プロローグ	高校生による漁業者インタビュー(映像)と高校生ナビゲーターによる演出
天皇皇后両陛下御臨席	(知事の御先導)
大会旗入場	鼓笛隊、旗手団の行進入場
開会のことば	兵庫県漁業協同組合連合会会長
国歌静聴	
主催者挨拶	大会会長(衆議院議長)、兵庫県知事
歓迎のことば	明石市長
天皇陛下おことば	
功績団体等表彰	大会会長、農林水産大臣、環境大臣 水産庁長官、兵庫県知事の各賞
作文コンクール 最優秀作文の発表	受賞者による朗読発表
稚魚等のお手渡し	両陛下からマダイ、キジハタ、ノリ、アユのお手渡し
海づくりメッセージ	若手漁業後継者、次代を担う高校生 による豊かな海づくりへの決意
大会決議	大会推進委員会会長(全漁連会長)
大会旗引継、後催県挨拶	北海道知事
閉会のことば	兵庫県議会議長
天皇皇后両陛下御退席	(知事の御先導)
登壇者退席	
表彰式	功績団体、作文・絵画・習字コンクール
エピローグ	大会テーマソング、未来メッセージ

■ 出演者等

[式典音楽演奏]

スーパーキッズ・オーケストラ
(指揮: 佐渡 裕 芸術監督)



佐渡 裕 監督(©飯島隆)

[舞台誘導等進行補助]

県立明石高校

[大会旗入場]

県立香住高校(海洋科学科)

[鼓笛隊]

長寿院保育園(明石市)

[プロローグ]

若さ溢れる高校生ナビゲーター

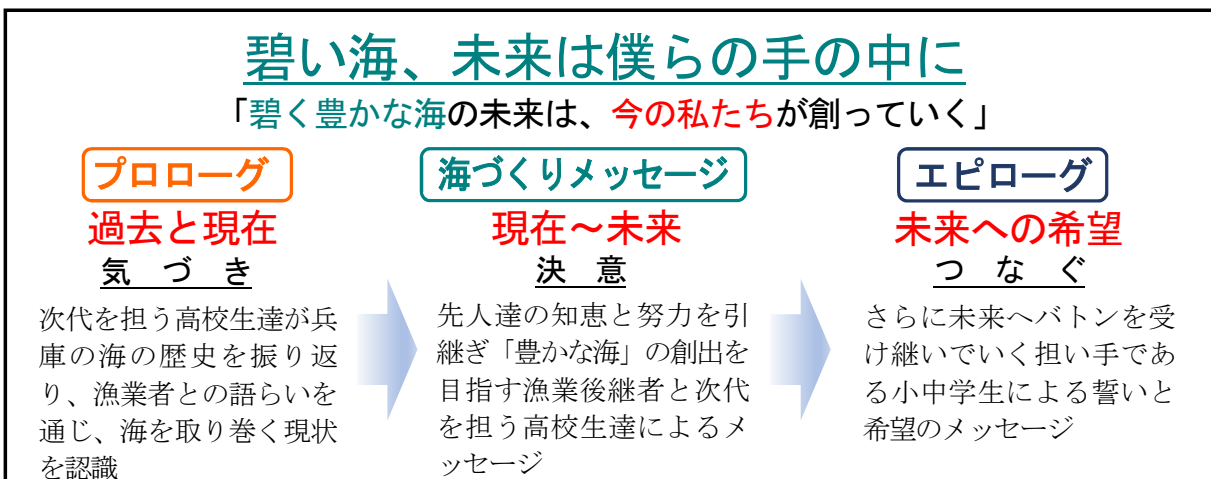
[海づくりメッセージ]

漁業後継者、水産高校生など

[未来メッセージ]

明石市内小中学生など

■ 演出の構成とストーリー



3 海上歓迎・放流行事 令和4年11月13日(日) 予定時間：14:00～14:30

アナウンスと和太鼓演奏に合わせて数隻の漁船が隊列を組んで航行し、兵庫県の代表的な漁法を紹介するとともに、地元漁業者による大船団パレード(100隻規模の漁船)を実施し招待者を歓迎する。

また、豊かな海を次世代に繋ぐ思いを込め稚魚の放流を行う。放流魚は本県で種苗生産を行う代表的な魚種として「マダイ」と「ヒラメ」を選定している。

■ 進行 司会：MBS毎日放送アナウンサー

プログラム	内容・演出
歓迎演奏	地元高校生による吹奏楽演奏
天皇皇后両陛下御着	大船団パレード御覧
海上歓迎行事	漁船の航行に合わせ漁法紹介、和太鼓の演奏
御放流(第1回～2回)	両陛下の御放流に合わせ招待者も稚魚を放流(マダイ、ヒラメ)
御発	(知事の御先導)

■ 出演者等

吹奏楽演奏
県立明石南高校吹奏楽部
和太鼓演奏
神戸市立須磨翔風高校和太鼓部
御放流介添
県立香住高校(海洋科学科)

■ 漁法紹介参加船

- ・船びき網漁業(シラス、イカナゴ等を漁獲)
- ・のり養殖業(のり養殖刈り取り船)
- ・小型底びき網漁業
(海底に生息するカレイ、タコ等を漁獲)
- ・五智網漁業(岩場や魚礁でマダイ等を漁獲)
- ・たこつぼ漁業(海底に壺を設置シタコを漁獲)
- ・一本釣漁業(マダイ、スズキ等を釣獲)

※ほか、県の漁業取締船「はやたか」、漁業・環境調査船「新ひょうご」が参加。



1年前イベントでの参加漁船

■ 海上歓迎・放流行事会場イメージパース



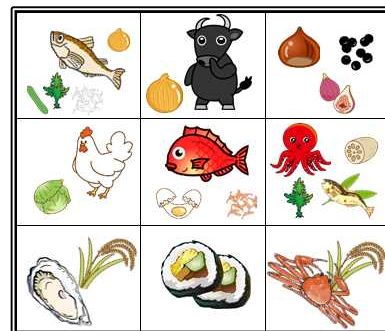
4 招待者へのおもてなし

(1) 大会公式弁当

大会当日は、「^{みけつくに}御食国ひょうご」に相応しく、「ひょうご五国」の豊富で多彩な農林水産物を使用した大会公式弁当を招待者へ提供する。

[大会公式弁当メニュー]

- ・ハタハタの南蛮漬 ・神戸牛すき焼き風煮込み
- ・丹波栗等 (デザート)
- ・淡路鶏の中華風あんかけ ・明石鯛の塩焼き
- ・明石ダコの柔らかか煮、小鮎
- ・瀬戸内牡蠣の牡蠣めし ・具たくさん巻き寿司
- ・香住ガニのかに飯



食材のイメージ

(2) 大会記念品

県内各地の加工食品等を大会招待者へ記念品として配布し、五国の魅力をPRする。

[大会記念品]

- ・むかし海苔 ・酒粕バタークッキー ・ホタルイカの素干し
- ・黒豆ビターショコラ ・明石市推薦の和 (洋) 菓子 ・淡路島玉ねぎスープ
- ・魚の缶詰 (県立香住高校海洋科学科生徒が製造) などを検討

(3) 歓迎飾花

大会当日は、県内の農業系高校生が制作する歓迎飾花 (立体花壇、プランター飾花) で招待者を歓迎する。天皇皇后両陛下の動線周辺は、飾花を引き立たせるため、木製プランターカバーに入れ、制作校の学校名を刻印した木製プレートを取り付ける。



立体花壇イメージ

(ひょうごまちなみガーデン2021より)



プランター飾花

(木製プランターカバー・プレート付)

[制作協力校]

- ① 立体花壇、プランター飾花 (農業系県立高校 10 校)
氷上高、淡路高、有馬高、上郡高、篠山産業高、篠山東雲高、佐用高、但馬農高、
県立農高、播磨農高
- ② 県産材を使用した木製プランターカバー (林業系県立高校等)
山崎高校、県立山の学校 ※県立森林大学の演習で伐採した原木を使用
- ③ 制作校名を刻印した木製プレート (工業系県立高校)
兵庫工業高、神戸工業高など

5 関連行事

～兵庫の水産業や豊かな海づくりに向けた取組、ひょうご五国の魅力を内外に発信～

(1) 豊かな海づくりフェスタ 2022(明石市) ※令和4年11月12日(土)～11月13日(日)

大会を記念し、明石市で広く県民を対象とした集客イベントを実施する。

○場 所 明石公園西芝生広場・あかし市民広場

○内 容

- ・企画展示（企業・団体・漁業者等による豊かな海づくりに向けた取組等）
- ・ステージイベント（トークショー等）
- ・体験ブース（子供向けのタッチングプールなど）
- ・特産品展示・販売（ひょうご五国の多彩な食を味わう飲食・物販等）

(2) サテライト会場 ※令和4年11月13日(日)

県全体で大会を盛り上げるため、姫路、但馬、淡路の3カ所にサテライト会場を設け、地域のイベントと連携し、その特色を活かした関連イベントを実施する。

○場 所 妻鹿漁港（姫路市）、但馬地区（調整中）、道の駅あわじ（淡路市）

[映像生中継]

メイン行事会場との一体感を演出するため、全ての関連行事会場において、大型映像装置を活用し、式典行事及び海上歓迎・放流行事の様態を生中継する。



明石公園西芝生広場



豊かな海づくりフェスタ 2021
(明石公園)



ぼうぜ鯖祭り（妻鹿漁港）

【参考】

■ 海上歓迎・放流行事会場となる明石港の整備（令和3～4年度）

海上歓迎・放流行事の円滑な運営と招待者の安全確保のため、必要となる整備工事を実施している。

ア 安全対策として護岸の転落防止柵の新設及び補修、展望広場ブロック舗装の張り替え、植栽の剪定等。

イ 両陛下のご入場経路と想定される臨港道路の側溝の補修とアスファルト舗装。

ウ 招待者用のバス駐車場や昼食・おもてなし会場となる砂利揚場跡地等における舗装又は補修。



砂利揚場跡地

Ⅲ 大会の開催準備

1 実行委員会の設置・運営

大会の企画及び運営に関する事項を審議・決定するとともに、関係機関との緊密な連携のもとで開催準備に取り組むため、県・市町・業界団体・企業等幅広い分野から構成する実行委員会を設置・運営している。

[第41回全国豊かな海づくり大会兵庫県実行委員会]

(1) 構 成 員 80名

- ・会 長 兵庫県知事
- ・副会長 兵庫県副知事（農林水産部担当）
兵庫県漁業協同組合連合会代表理事長、明石市長（開催地）
- ・顧 問 兵庫県議会議長、農政環境常任委員会委員長、明石市議会議長
- ・委員等 県関係機関の長、関係市町長、各種業界団体・企業、報道機関等代表

(2) 開催状況 令和4年4月27日（水）第5回実行委員会総会を開催予定。
→大会実施計画等について審議・決定

2 大会実施本部の設置

大会の全ての行事にかかる運営体制を構築するため、県・関係市・漁業系統団体職員等で構成する「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫県実施本部」を設置する。

(1) 設置時期 令和4年6月

(2) 主な業務 特別招待者の接伴、招待者対応（受付、案内、誘導、接遇等）、行事の運営管理、会場及び駐車場管理 等

(3) 体 制 本部長 兵庫県知事（実行委員会会長）
副本部長 兵庫県副知事、明石市長（実行委員会副会長）等

3 作品コンクールの実施

次代を担う児童・生徒に、海・川の恵みや環境保全の大切さを広く理解してもらうため、大会行事の一環として作文、絵画・習字コンクールを実施する。

※募集時期：令和4年4月1日～同年6月3日

<作文コンクール>

- 主 催 豊かな海づくり大会推進委員会
第41回全国豊かな海づくり大会兵庫県実行委員会
- 募集部門 小学校（低・高学年）、中学校、高等学校
※最優秀作品（大会会長賞）受賞者が式典行事で朗読発表。

<絵画・習字コンクール>

- 主 催 第41回全国豊かな海づくり大会
兵庫県実行委員会
- 募集部門 小学校（低・高学年）、中学校
※大会前日、両陛下が知事賞受賞
作品を御覧。

※式典行事のエピローグにおいて、受賞者全員へ表彰状及び副賞を授与。



作品コンクール募集ちらし

IV 機運醸成と広報

1年前プレイベントを開催したほか、市町や漁協等と連携して実施している「大会記念リレー放流」や「豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト」は令和4年度以降も継続する。

令和4年3月に大会テーマソング（作詞作曲、歌：植村 花菜氏）が完成し、音楽を通じた豊かな海づくりへの啓発も行っている。

1 1年前プレイベント・関連イベントの開催（令和3年度）

式典及び海上歓迎・放流行事を実施したほか、県立明石公園で広く県民を対象とした関連イベント「豊かな海づくりフェスタ 2021」を開催し、本番を想定した検証とともに大会に向けた一層の機運醸成を図った。

○日 時 令和3年10月17日（日）午前

※豊かな海づくりフェスタ 2021は10月16日（土）～17日（日）

【式典行事】明石市立市民会館 司会：MBS 松川浩子アナウンサー 招待者 154名

- ひょうご海の子作品展表彰式、優秀作文朗読発表
※同作品展は、JF 兵庫漁連及び JF 女性連が県内小中学生を対象に毎年実施。
- 大会テーマ、大会ロゴ、大会キャラクター紹介
- 大会テーマソング制作アーティスト紹介
※植村 花菜さんを招き、テーマソング制作に掛ける想いなどインタビュー



ひょうご海の子作品展表彰



大会キャラクター「はばタン」と
コスチュームをデザインした高校生



植村花菜さんの登場を待つ
舞台

【海上歓迎・放流行事】明石港ベランダ護岸 司会：MBS 高井美紀アナウンサー

- 歓迎演奏、大船団パレード
※県立明石南高校吹奏楽部の演奏、参加漁船約 90 隻。
- 漁法紹介
※神戸市立須磨翔風高校和太鼓部の演奏、漁船等 10 隻の航行に併せ、瀬戸内海の代表的な漁法を紹介。
- 稚魚放流
※明石市立中崎小学校児童 167 名も参加し、招待者等とともに稚魚を放流。



大船団パレード観覧



漁法紹介の参加漁船



稚魚の放流

【豊かな海づくりフェスタ 2021】明石公園千畳芝

第42回兵庫県民農林漁業祭との同時開催により、大会PR展示のほか、ひょうごの豊かな海を学ぶ企画展示、子どもを対象とした体験プログラム等を実施した。

- ・開催 令和3年10月16日(土)～17日(日)
- ・場所 明石公園千畳芝広場(農林漁業祭会場内)
- ・出展 9ブース(香美町とと活隊、但馬産松葉ガニ普及推進協議会、内水面漁連、SEAT-CLUB、食のブランド「淡路島」推進協議会等9団体)
- ・来場者 約1.3万人(農林漁業祭来場者から推計)



ちりめんモンスター探し
(SEAT-CLUB)



川の生き物ミニ水族館
(内水面漁連)



ステージでの大会PR
(大会事務局)

2 大会記念リレー放流

豊かな海づくりへの子ども達の理解と参加を促すとともに、大会に向けた全県的な機運を高めるため、市町、漁業協同組合等の協力のもと、園児・児童等による稚魚の放流を県内各地で実施している。

令和3年度開催実績 ※計12回実施 439名が参加

区分	実施日	実施場所	参加学校・児童等	参加者	魚種
第1回	6月9日	伊保漁協前	高砂市立伊保南小学校3年	47名	ヒラメ
第2回	6月22日	津名漁協塩田支所前	淡路市立塩田小学校2年	14名	ヒラメ
第3回	6月23日	炬口海水浴場	洲本市立洲本第一小学校6年	14名	ヒラメ
第4回	7月1日	北淡室津ビーチ	淡路市立北淡小学校5年	45名	ヒラメ
第5回	7月5日	浜坂県民サンビーチ	新温泉町立浜坂認定こども園	16名	ヒラメ
第6回	7月17日	今子浦海水浴場	香住区内小学生	48名	ヒラメ
第7回	7月21日	道の駅みなみ波賀前	波賀福祉会波賀みどり保育園	46名	アユ
第8回	9月30日	熊波川河川敷	香美町立射添小学校4年	5名	ヤマメ
第9回	10月18日	坊勢漁港	姫路市立峰相小学校5年	40名	ヒラメ
第10回	10月19日	林崎海岸	明石市立林幼稚園	34名	マダイ
第11回	10月23日	マリビア神戸・フィッシャリーナ	来場者親子	60名	マダイ ヒラメ
第12回	11月2日	高砂海浜公園	高砂こども園、北浜こども園	70名	アサリ

※各回とも大会PR資材等を配付し、園児・児童、保護者、引率者等へ豊かな海づくりを啓発するキャラバンを実施。

(大会記念リレー放流)



炬口海水浴場(洲本市)



今子浦海水浴場(香美町)



坊勢漁港 (姫路市)

【参考】

■ 明石市（開催地）の取組

1年前イベントに併せ、明石駅前パピオス5階に「豊かな海づくりエリア」が開設されたほか、魚の棚商店街では大会を記念し、水産物を使った明石のグルメを食べ歩く「明石うまいもん満喫フェスタ 2021」（10/8～31）が開催されるなど、地域全体で大会機運を盛り上げた。



豊かな海づくりエリア
(パピオス5階)

3 豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト

「ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会」(※)と連携し、漁業体験や出前おさかな講習会等、体験活動を通じ豊かな海の大切さについて広く県民に発信している。

※ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会

豊かな海づくりへの県民の理解と参加を促すため、関係機関が連携して推進母体を立ち上げ、「豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト」を実施している。

(構成員) 県漁連、兵庫県、神戸市、明石市、コープこうべ

(設置) 平成30年4月

(1) 漁業体験

ア 漁業見学船「第八ふじなみ」による漁場見学等

坊勢漁協が所有する漁業見学船「第八ふじなみ」を活用し、底びき網、定置網等の漁法見学、漁獲物の選別体験など、県民を対象とした体験学習を実施。

・令和3年度 30回実施、参加者 776名 ※令4.3末時点

(・令和2年度 32回実施、参加者 903名)

イ 漁協等と連携した漁業体験

漁協青壮年部、女性部等と連携し、児童・生徒を対象とした水産物に関する講習会(水産教室)、海にまつわる環境学習、海浜清掃及び地びき網や漁船乗船体験等を県内各地で実施。

・令和3年度 21回実施、参加者 1,732名 ※令4.3末時点

(・令和2年度 12回実施、参加者 441名)

(2) 出前おさかな講習会

県内各地の小中学校と連携し、次代を担う子ども達を対象に、県産水産物を使った調理実習、動画や漫画等を活用した豊かな海に関する講習会を開催。

- ・令和3年度 51 小中学校で 101 講座、
参加者 3,044 名 ※令 4.3 末時点

(・令和2年度 27 小中学校で 52 講座、参加者 1,530 名)



出前講習会

(3) 水族園企画展の開催

神戸市立須磨海浜水族園と連携し、令和3年度は多様な水産物に恵まれる兵庫の海の豊かさを「食」の視点で捉え、漫画風の解説パネル等を活用し、海と人々とのつながりをユニークに紹介。

- ・豊かな海を考える企画展「ひょうごの海の魚を知ろう！」

期 間：令和4年2月11日（金）～同年3月27日（日）

(4) ひょうごの「豊かで美しい海」の再生に向けた活動報告会

豊かな海の再生に向けた漁業者や地域団体の活動、学生等が地域と連携して行っている活動等を講演や事例発表により紹介。

- ・開催日：令和4年3月17日（木） ・参加者 115 名（WEB 参加を含む）

(5) 豊かな海ワークショップ

ユープこうべが実施する、兵庫の海や漁業、魚食文化に関する大人向けのシリーズ講座に参画し、主に消費者をターゲットとした体験による学びの場を通じ、豊かな海づくりや大会関連情報を発信。

- ・令和3年度は5回開催

(講義、漁場見学、漁業者と意見交換、体験報告会、地魚調査などを実施)

(6) さらなる啓発に向けた新たな取組

① お魚総選挙の実施

水産業の振興や豊かな海づくり、食育や子育てを担う12の大臣職を設け、県内各地の漁協が推薦した魚種を候補に、消費者等にWEBで投票してもらうことを通じ、本県水産業の魅力や大会情報を広く発信する。

- ・選挙告示 令和4年8月5日（金）

※100日前カウントダウンイベント（P16参照）に併せて告示

- ・投票期間 令和4年8月～11月 ・組閣発表 11月12日（土）※大会前日

② ラジオプロモーション

現場に精通した県内の漁協組合長が、豊かな海づくりに向けた熱意をラジオ番組で発信している。

- ・ラジオ関西「正木明の地球にいいこと」

月曜日 13:00～13:25 の枠での放送

- ・毎月1回、計10回シリーズ（R4.2～11）



ラジオ収録

(R4.2.21 第1回放送)

4 大会テーマソングを通じた豊かな海づくりの啓発

音楽を通じて県民の豊かな海づくりへの理解と参加を一層促進するため、大会テーマを基調としたオリジナルソングを制作した。

今後、テレビ、ラジオでの発信に加え、公共施設、公共交通機関（バス車内）、県庁や市役所等での庁内放送で随時演奏し、小中学校の環境学習での活用も促すなど、あらゆる機会を通じてきめ細かく発信し、大会終了後も末永く県民に親しまれる音楽として定着を図る。

- 歌詞フレーズ：公募により選定
- 作詞作曲、歌：植村 花菜
(シンガーソングライター、川西市出身)
- 曲名：「いのちをつなぐ碧い海」



テーマソング完成記念イベント
(R4. 3. 27)

■ 大会テーマソング完成記念イベント

- ・令和4年3月27日（日）神戸市立須磨海浜水族園
- ※植村花菜さんVTR出演、テーマソング披露

5 100日前カウントダウンイベントの開催

開催を目前に控えた100日前を機に、明石駅構内でカウントダウンボード点灯式を実施し、大会当日に向けた機運を一層高める。

- 日時 令和4年8月5日（金）
- 場所 JR明石駅コンコース（予定）
- 内容 ・カウントダウンボード除幕・点灯
・お魚総選挙（P15参照）の告示



カウントダウンボード(イメージ)

6 幅広い広報活動の展開

(1) 海外への大会情報の発信

① 国際エメックス会議を活用した情報発信

「第13回世界閉鎖性海域環境保全会議」（エメックス13会議）特別セッション会場（神戸ポートピアホテル）において、兵庫県の豊かな海づくりへの取組等をパネル展示により発信した。

- ・期間 令和3年9月6日（月）～10日（金）



エメックス13会議でのパネル展示（神戸ポートピアホテル）

② エメックスニュースレターを通じた発信

国際エメックスセンターが発行するエメックスニュースレター英語版（令和3年秋号）を通じて、本県の豊かな海づくりや大会関連情報を世界に向けて発信した。



英語による大会情報の発信

(2) 協賛行事を通じた大会キャラバン

市町や大会の趣旨に賛同する企業・団体等と連携し、これらが実施するイベント等を大会協賛行事として位置づけ、大会への参画の裾野を広げるとともに、各行事では企画展示、体験学習、PRグッズの配布等を通じ、大会情報の発信を行っている。

■ 協賛行事でのPR事例



○明石防災フェスタ（ヒーローアカデミア）

令和3年7月10日（土）明石港 GRAVA

県民の防災意識の向上を目指し明石青年会議所が実施。起震車も登場し盛況な中、大会ブースでは魚をデザインした缶バッジの製作等を通じ、子供や保護者へ豊かな海づくりを啓発した。



○漁業者による森づくり

令和3年11月9日（火）南あわじ市福良

島内17の漁協でつくる「淡路水交会」が主催、漁業関係者約70人が植樹に取り組む。森の栄養を川から海へと流し、魚介類が育つ環境づくりを目指すとともに、参加者全員で大会の成功を誓い合った。



○ぼうぜ鯖祭り、とれとれ祭り

令和3年11月21日（日）姫路市妻鹿漁港（まえどれ市場）

坊勢漁協主催、秋恒例のビッグイベント。心待ちにした多くの来場者へ大会グッズを配布したほか、クイズなど子供向けのイベントを通じ大会開催をPRした。



○虹の仲間で森づくり

令和3年12月4日（土）神戸市西区神出神社

県漁連がコープこうべと連携し、里山整備(除伐作業)を実施。「豊かな森」が「豊かな海」を育むことをアピールするとともに、大会開催を参加者にPRした。



○大会記念 明石観光PR隊長パパたこコラボ弁当

明石市観光協会と(株)淡路屋がコラボし、大会記念ラベル付きの「ひっぱりだこ飯」をJR西明石駅にて1000食限定で販売、11月5日の販売開始から8日で完売した。弁当の販売と併せて大会のチラシやキャラクターシールを配布しPRした。

■ 大会協賛行事一覧（令和3年度）

	実施日	行事名	主催	テーマ等
1	7/10(土)	明石のヒーローアカデミア	明石青年会議所	防災意識の向上
2	7/29(木)~30(金)	虹っ子親子マリンスクール	コープこうべ	親子で魚を学習
3	7/31(土)	親子ふれあいデー	神戸市漁協女性部	稚魚放流等
4	8/1(日)	白鷺鱧祭り	坊勢漁協	播磨灘の恵み
5	8/2(月)~13(金)	かとう cool choice ウィーク	こうべ環境未来館	海と里とのつながり
6	8/16(月)	学ぼう豊かな海づくり	イオンモール(明石)	豊かな海の大切さ
7	9/25(土)	講演「豊かな海を取り戻す」	コープこうべ	コープこうべ 100周年記念
8	10/2(土)~11/14(日)	ひょうごシーレンジャー	サンテレビ	海と日本プロジェクト
9	10/3(日)	明石の海で魅力再発見	明石青年会議所	地引き網、調理体験
10	10/3(日),9(土),10(日)	明石海上釣り堀 招待	明石浦漁協	魚への親しみ
11	10/10(日)~11(祝)	あつまれ！プラごみ調査隊	北はりエコ	環境保全
12	10/16(土)~17(日)	ふれあいの祭典 (in 神戸)	同祭典実行委員会	地域活動の発表
13	同上	ミライがここにある！	県水大気課	里海パネル展示
14	10/22(金)~31(日)	須磨海岸チヌ釣り大会	すまら水産有限責任事業組合	魚への親しみ
15	10/23(土)	パパたこコラボ弁当事業	明石観光協会	大会記念弁当販売
16	10/23(土)~24(日)	兵庫 海マルシェ	マリンピア神戸	兵庫の魚と海を学ぶ
17	11/9(火)	漁業者による森づくり	淡路水交会	森と海をつながり
18	11/21(日)	ぼうぜ鯖祭り、とれとれ祭り	坊勢漁協	播磨灘の恵み
19	11/28(日)	高砂市農林漁業祭	同市農林漁業祭実行委員会	農林水産物品評会
20	12/4(土)	虹の仲間で森づくり	県漁連	森と海をつながり
21	12/5(日)	早採りワカメ株付け体験	須磨浦水産研究会	ワカメの収穫体験
22	12/18(土)	サイエンスカフェ	神戸常盤大学	瀬戸内海の豊かさ
23	2/27(日)	自然環境サミット2022	須磨FRSネット	神戸の海の豊かさを守ろう
24	3/1(火)~3/31(木)	いかなごのくぎ煮文学賞募集	いかなごのくぎ煮振興協会	イカナゴへの熱い思い
25	3/7(月)、3/28(月)	兵庫の海&とれぴち	コープこうべ	兵庫の海を取り巻く環境
26	3/10(木)	上を向いて、笑おう。御堂筋天国	農林中央金庫	地域の農産物の販売

V 豊かな海づくりに向けた県民運動の展開へ

1 瀬戸内海の貧栄養化と豊かな海づくりへの本県の取組

～瀬戸内海環境保全特別措置法の改正へ～

- (1) 瀬戸内海は、厳しい排水規制のもと水質が改善された反面、漁獲量が急激に減少したため、本県では、漁業者と連携し「海底耕うん」や「森づくり」、ため池の「かいぼり」など、海の栄養を回復させる取組を進めてきた。
- (2) これをさらに広げるため、良好な漁場環境と水産資源の回復に向けた新たな法整備を国等に働きかけた結果、平成 27 年、環境保全、自然環境、文化的景観などを含め、多面的機能が最大限に発揮される「豊かな海」の創出を基本理念とする「瀬戸内海環境保全特別措置法」の改正(H27. 10. 2 施行)に繋げることができた。
- (3) 令和 3 年 6 月、同法の一部が改正、水質目標値を一律にした現状を改め、周辺環境の保全と調和した形で、沿岸府県ごとに栄養塩類管理計画を策定できることになった。大会を目前に控えた本県にとって、「追い風」ともいえる法改正である。



農業者と漁業者との連携によるため池の「かいぼり」



海底耕うんのための桁を海底に沈める漁業者



漁業者の取組をPR (海底耕うん)

〔※ 令和 4 年 2 月、「サステナアワード 2021」において、明石浦漁協制作の海底耕うんを紹介する動画が、農林水産大臣賞（最優秀）を受賞した。〕

2 県民総参加の大会

～ 多様な事業者・県民が参画する大会へ ～

本大会は、豊かな海づくりに向けた本県の先導的な取組を発信する絶好の機会であり、本大会を機に、漁業者はもとより、幅広い分野の事業者や県民の理解と参画のもと、豊かな海づくりを県民運動へと発展させていく出発点とする。

(1) 協賛行事、企業協賛を通じた大会への参画

海浜清掃等を行う環境保全団体、環境配慮型製品の開発に取り組む企業、釣りなど海洋レジャー団体、プレジャーボートのメーカー、工場排水を通じ栄養塩類の供給に取り組む企業など、海に関する幅広い主体へ大会への協賛を呼び掛け、参画を働きかける。

(2) 関連行事を通じた大会への参画

これらの企業や団体へ、大会当日、明石公園及び県内 3 か所（姫路、但馬、淡路）で行う関連行事への出展を積極的に働きかけ、企業や団体の専用ブースにおいて、環境保全や豊かな海づくりに向けた日頃の活動を県民に発信する。



環境保全団体による海岸清掃
(相生湾自然環境学習会議)



環境問題に取り組む企業の出展
(豊かな海づくりフェスタ 2021)



大会協賛行事の募集

3 県民運動の展開へ

(1) 推進母体（ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会）の大幅な拡充

～ 活動組織相互の連携と協働を促進 ～

現在、県、県漁連、神戸市、明石市及びコープこうべで構成する「ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会」（P14 参照）により、出前おさかな講習会や水族園での企画展等を通じ、豊かな海づくりへの啓発に取り組んでいる。

大会終了後は、県民総参加の運動としてさらなる展開を図るため、企業協賛や関連行事を通じて大会に参画した企業・団体に協議会への参画を働きかけ、構成員を大幅に拡充する形で新たな推進母体を立ち上げる。

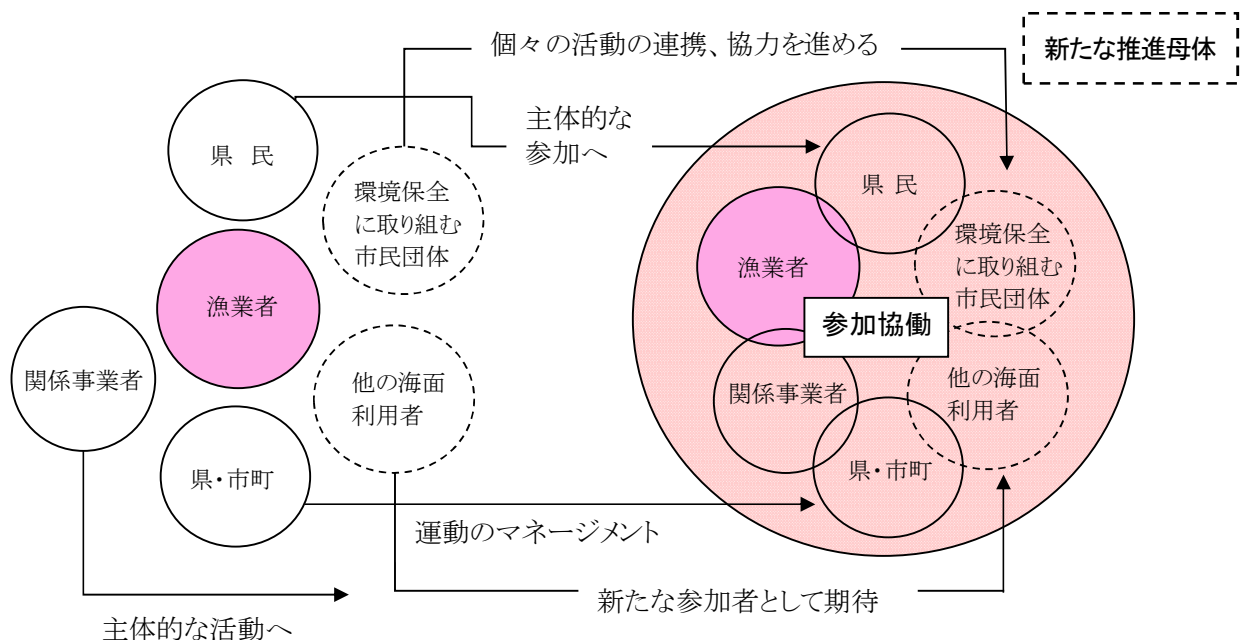
その後、これらの団体が相互に連携した環境学習や藻場づくりなどの主体的な活動を促し、多様な団体が協働した豊かな海づくりへの取組が展開されるよう支援する。

(2) 次世代の参画

県民一人ひとりの実践を一層促すため、大会に参画した高校生や大学生などに、森づくりやかいぼり等への参加を働きかけ、取組の輪を次代を担う若者へ広げる。

■ 県民運動に向けた新たな推進方策

漁業者による先導的な運動から → 多様な県民が参加協働する県民運動へ



【参考】県民総参加に向けた大会スケジュール

